

# 草津PAと連携した 滋賀県南部エリア活性化基本構想

0. 構想策定にあたって
1. 対象エリアとまちづくりの目標(上位計画)
2. 現状
3. 課題
4. 関連計画および周辺動向
5. 目標・基本方針

# 0. 構想策定にあたって

## ■ 構想策定の背景と目的

- ・草津市南部のびわこ文化公園都市周辺エリアについては、名神高速道路等の広域的な道路ネットワークに加え、医療・福祉・学術・産業等が立地する恵まれた環境を有している。
- ・これらのポテンシャルの有効活用を図り、当該エリアを「滋賀県の新たな玄関口」として機能させ、当該エリアを含む滋賀県南部エリアの活性化につなげるよう、関係機関との連携協力のもと、まちづくりのあり方にかかる「草津PAと連携した滋賀県南部エリア活性化基本構想」を策定するものである。
- ・なお、基本構想の策定にあたっては、上位計画である南草津エリアまちづくり推進ビジョン、国による交通拠点調査や滋賀県によるびわこ文化公園都市将来ビジョンの見直しとも整合を図っていくものとする。

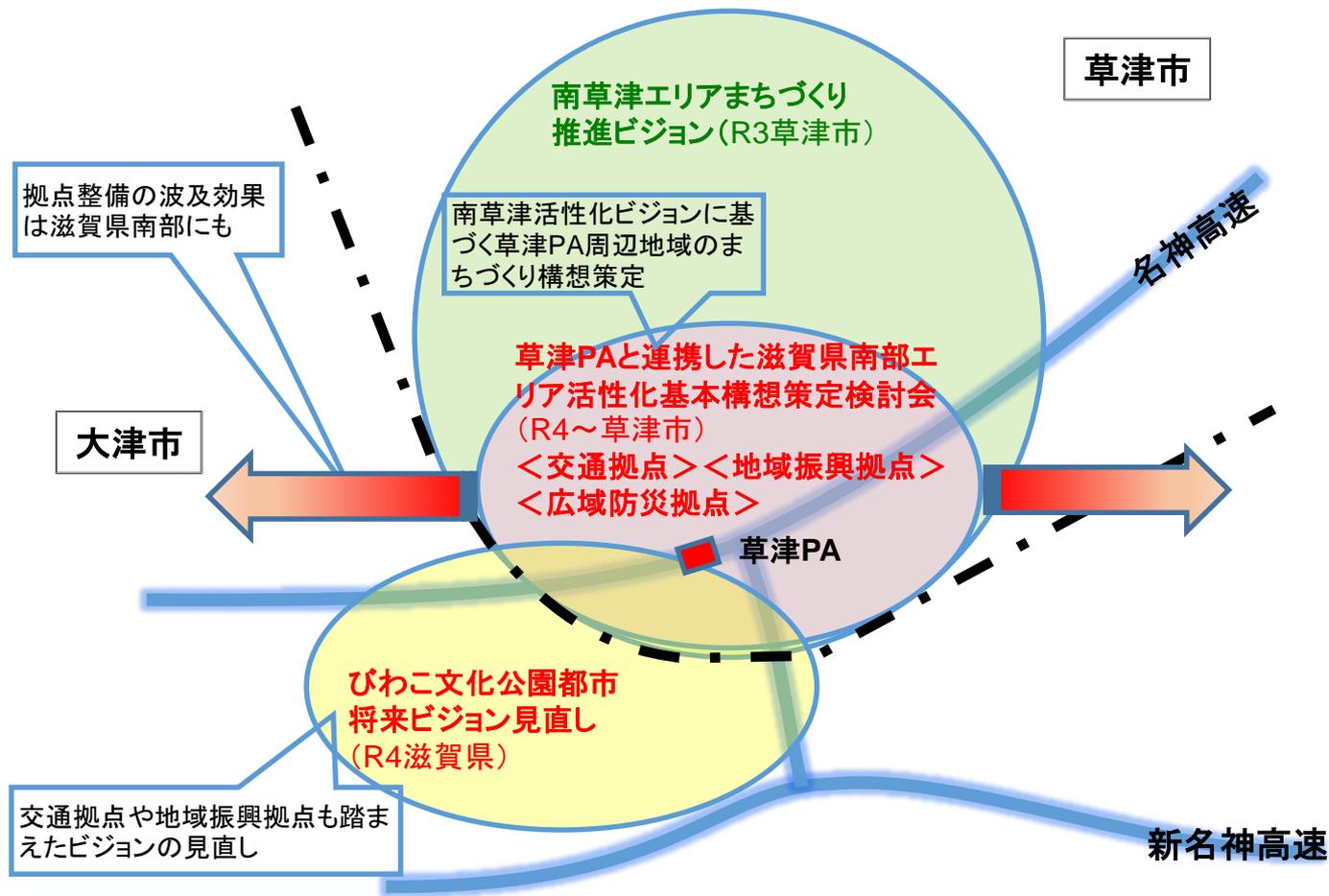
## ■ 構想策定にあたっての着眼点

- (1) 草津市南部のみならず滋賀県名エリアも見据えた活性化
- (2) 研究会での検討成果を踏まえた検討
- (3) 国が実施する交通拠点調査等の整合
- (4) 多様な利活用の検討
- (5) サウンディング調査を踏まえた地域振興施設の検討

# 0. 構想策定にあたって

## ■ 構想対象範囲

- ・上位計画である「南草津エリアまちづくり推進ビジョン」において位置づけられる「草津PA付近」のまちづくりを具現化するにあたり必要な範囲
- ・なお、交通結節点や広域防災拠点は、草津PA周辺のみならず草津市を超え周辺への波及が大きいことから、周辺関係機関も含め構想を策定



# 0. 構想策定にあたって

## ■ 検討及び構想策定の流れ（ステップ）

<b>STEP0</b> 対象範囲に関するこれまでの 取り組み状況把握	<ul style="list-style-type: none"><li>・草津市における対象範囲を含む周辺エリアのまちづくり計画の把握</li><li>・過年度に対象範囲で取り組まれた検討の把握</li></ul>
<b>SREP1</b> 現状、課題の整理	<ul style="list-style-type: none"><li>・既存の上位計画に掲げる周辺エリアのまちづくり計画を把握</li><li>・地域の現状を分析</li><li>・地域の課題、原因を分析</li></ul>
<b>SREP 2</b> まちづくりの対応方針検討	<ul style="list-style-type: none"><li>・既存の上位計画に掲げるまちづくり計画達成に向けた対象範囲に求められる対応方針（目標）を検討 にぎわい、防災、交通</li></ul>
<b>STEP3</b> 基本構想とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・検討された対応方針の設定・整備効果の把握</li><li>・対象範囲でのまちづくり構想を策定</li><li>・構想の具現化に向けた検討事項</li></ul>

本日の議論

基本構想の具現化に向けて



基本計画策定（全体計画、運用計画、事業区分、役割分担等）

# 1. 対象エリアとまちづくりの目標(上位計画)

## ◇対象エリア



# 1. 対象エリアとまちづくりの目標(上位計画)

◇南草津エリアまちづくり推進ビジョン(令和3年10月草津市策定)

## ○目標

- 1 大学・企業・地域の活力が持続的にあふれだすまち
- 2 誰もが豊かな環境と利便性を享受し安全・安心に住み続けられるまち
- 3 充実した都市空間・交通環境で多様な交流が生まれるにぎわいのあるまち

## ○基本方針

1. 活力 大学や企業等の立地集積を生かした産官学連携による魅力あるまちづくりの推進
2. 住環境 豊かな地域資源を生かした安全で快適な住環境の形成と地域主体によるまちづくりの推進
3. 交流 JR 南草津駅周辺やびわこ文化公園都市周辺における拠点性の強化と適切な都市機能の配置の推進

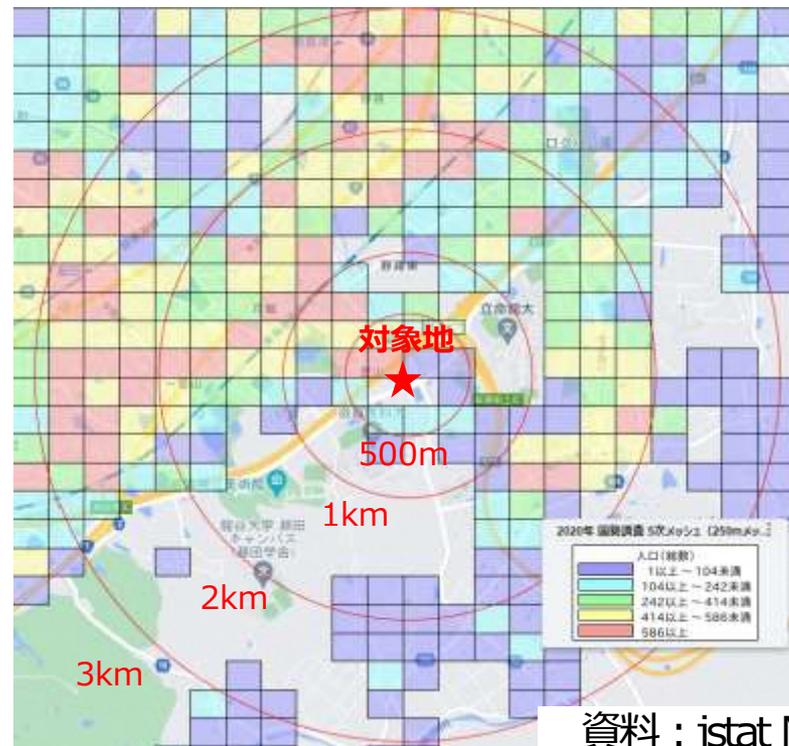
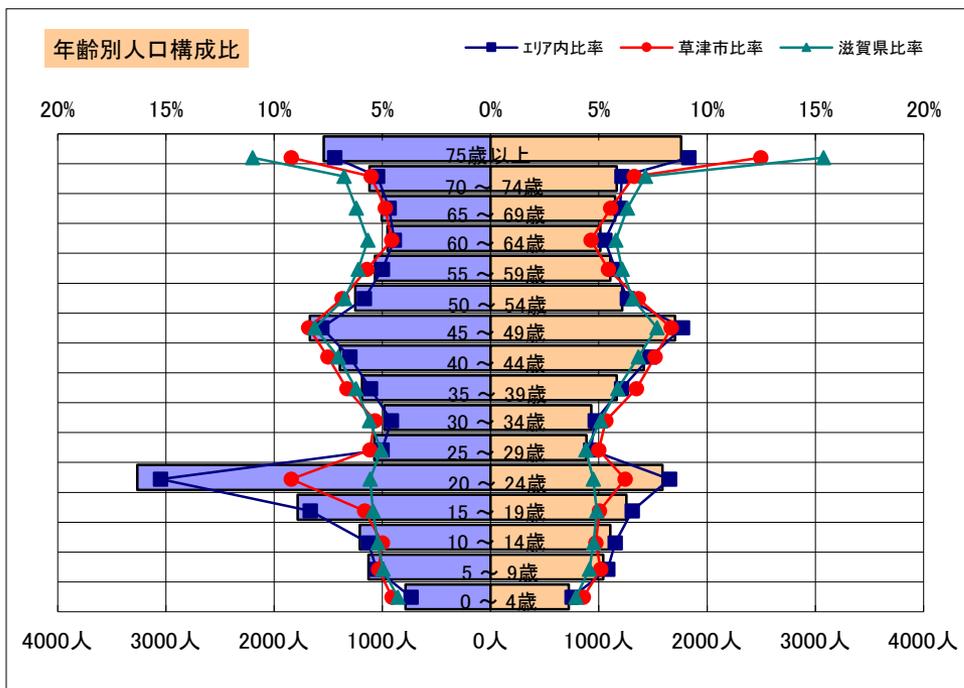
# 2. 現状

## (1) にぎわい・活力 <ポテンシャル(人口)>

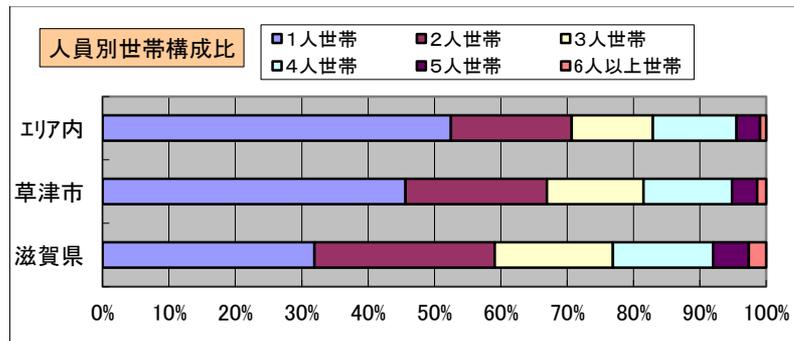
### ◇対象地2km圏に約4.5万人が居住

- ・対象地周辺は、名神高速道路北側、および東側の松が丘・青山地区の人口が多くなっている
- ・大学が多く立地するため、人口構成は20~24歳男性（約3000人）が最も多くなっており、世帯構成も1人世帯が半数以上を占める。

### ▼対象地2km圏の年齢別構成比（2020年）



### ▼対象地2km圏、草津市、滋賀県の世帯人員



## 2. 現状

### (1)にぎわい・活力 <ポテンシャル(大学の集積)>

◇立命館・龍谷・滋賀医科の3大学12学部が立地し、2万人以上が在籍

- ・びわこ文化公園都市内には、立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）、龍谷大学瀬田キャンパス、滋賀医科大学が立地。
- ・3大学の学部は医、理工、情報、経済、社会、スポーツ等の多様な学部が存在。

#### ▼びわこ都市に立地する大学と学部構成

名称	国立大学法人 滋賀医科大学			龍谷大学（瀬田キャンパス）			立命館大学（びわこ・くさつキャンパス）					
学部／ 学生数（名）	医学部	医学科	682	大学	理工学部	642	大学	経済学部	3229			
		看護学科	240		社会学部	2,276		理工学部	3933			
	大学院	博士課程	170		農学部	1,768		情報理工学部	1970			
		修士課程	44		先端理工学部	1,715		薬学部	823			
	合計				1,136	計		6,401	生命科学部	1252		
	資料：各大学HP					大学院		社会学研究科	37	スポーツ健康科学部	991	
				理工学研究科				182	食マネジメント学部	1238		
				農学研究科				60	計	13,436		
				合計				279	6,680	大学院	経済学研究科	102
				合計		15,437		理工学研究科	960		スポーツ健康科学研究科	111
								情報理工学研究科	438		薬学研究科	79
	生命科学研究科	291	食マネジメント研究科		20							
計	2,001	計	2,001									
合計			1,136	合計			6,680	合計			15,437	

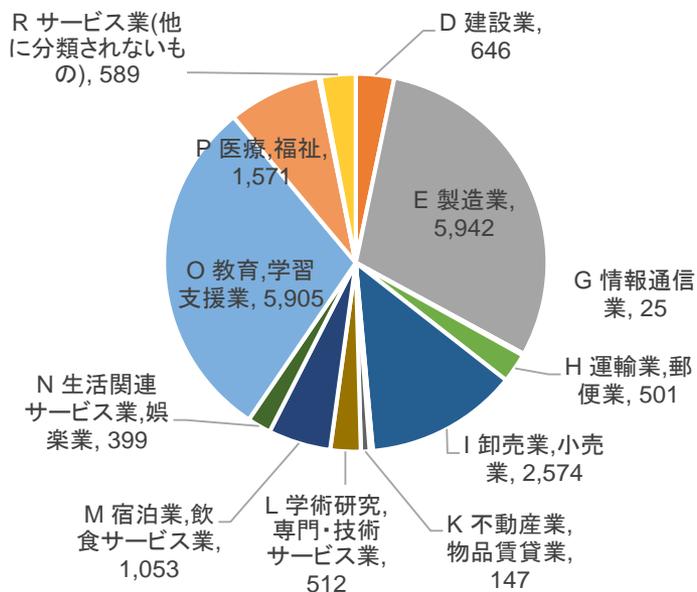
# 2. 現状

## (1)にぎわい・活力 <ポテンシャル(企業の集積)>

### ◇製造・物流をはじめ多様な業種の企業が集積

- ・びわこ文化公園都市内には15を超える企業が存在。
- ・半径2 km圏内で約2万人が従業しており、工場や大学の立地から、製造業や教育・学習支援業の従業者が多くなっている。

#### ▼対象地2km圏の従業者数 (2016年)



資料 : jstat MAP

#### ▼びわこ都市・周辺の立地企業

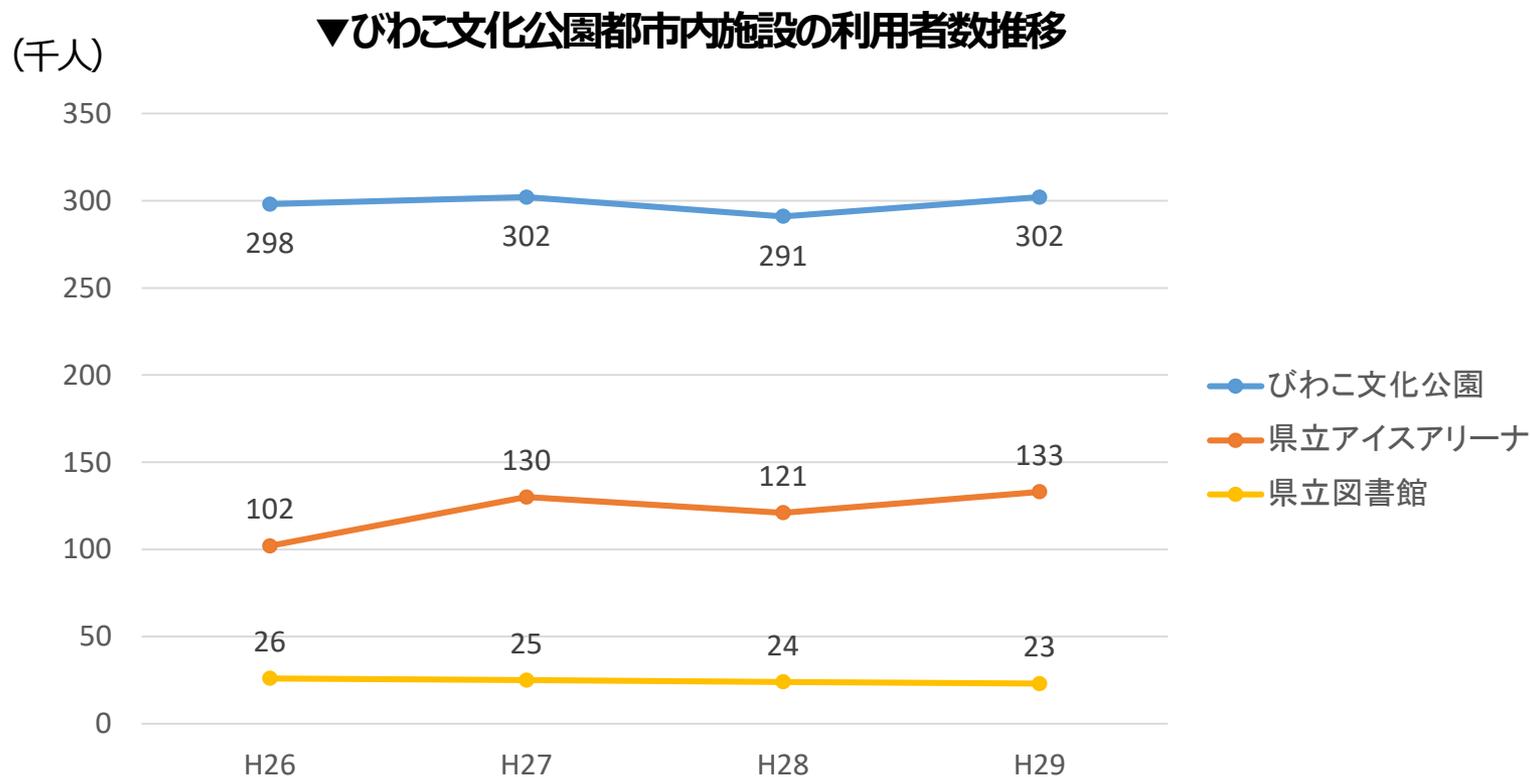
	名称	業種
びわこ文化公園都市内	株式会社ジーエス・ユアサ・テクノロジー 草津事業所	製造
	バイン株式会社 滋賀工場	食品製造
	犀工房	製造
	株式会社中村組 本店	物流
	江洲運輸株式会社	運送
	フジヤマジャパン	産業用機器製造
	サイチ工業 大津事業部 大津工場	製造
	株式会社 聖建	建設
	伏見運送 滋賀支店	運送
	三陽輸送 上田上流通ターミナル	運輸サービス
	増田運送 田上車庫	運送
	草津倉庫 大津営業所	倉庫
	エスフーズ 京滋営業所	食肉卸売
	メカテック 田上事業所 (NEXUS)	電子機器製造
	新井製作所 松が丘工場	製造
株式会社T'sCRAFT (本社)	製造	
株式会社 協立工業所	産業用機器製造	
周辺	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社	製造
	パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 草津工場	製造
	パーソルファクトリーパートナーズ(株)草津事業所	人材派遣
	住友建機販売株式会社	製造
	株式会社 探索医療機器開発	医療機器販売
	株式会社 拓伸	不動産
	新学社 草津物流センター	倉庫
	ダイキン工業 滋賀製作所	製造
	サンスター技研 滋賀工場	金属加工
	住友精密工業 滋賀工場	機械加工製造
	第一工流 草津営業所	物流
	日本トーカンパッケージ 滋賀工場	製造

## 2. 現状

### (1)にぎわい・活力 <ポテンシャル(文化施設の集積)>

#### ◇びわこ文化公園には年間約30万人が訪れる

・びわこ文化公園は年間約30万人、県立アイスアリーナは約13万人、県立図書館は約2万人が利用。



資料：草津PAと連携した交通拠点基礎調査（H30）、滋賀県立アイスアリーナ長寿命化計画、滋賀県立図書館事業概要

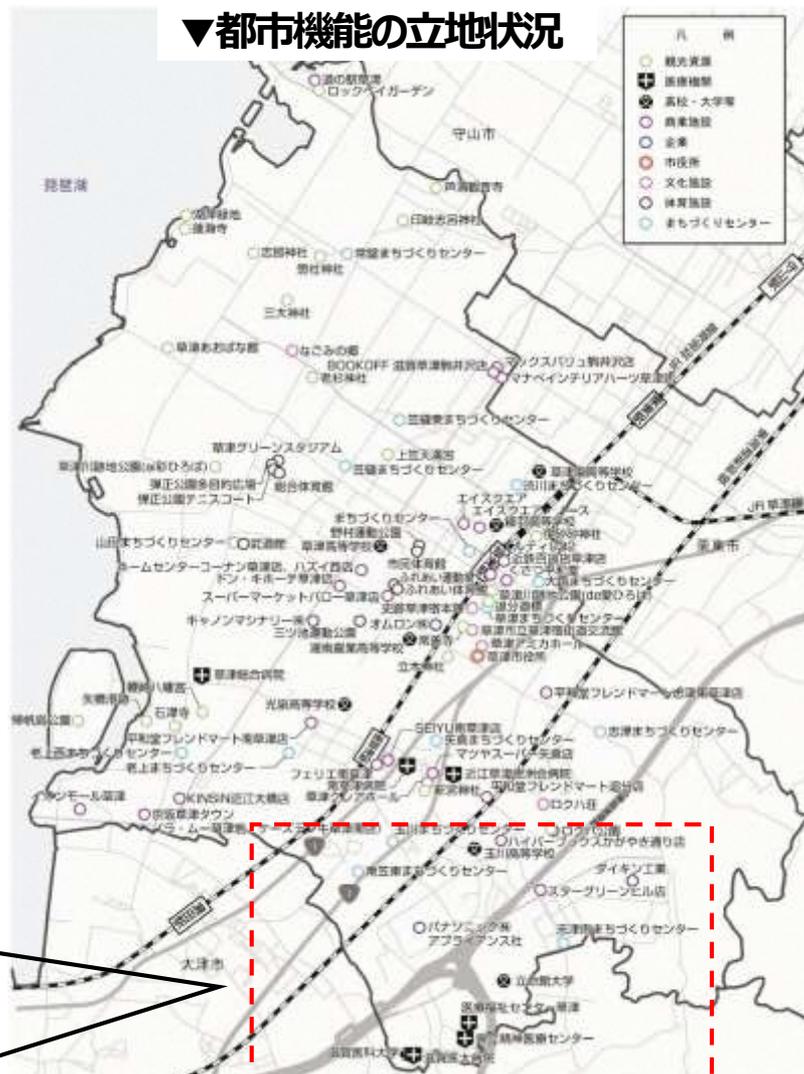
## 2. 現状

### (1)にぎわい・活力 <問題点(連携・交流)>

#### ◇日常的に利用できる 便利施設や交流施設が少ない

- ・商業施設を中心とした日常生活に必要な機能はJR沿線や琵琶湖岸南部（近江大橋周辺）に立地している。
- ・南部エリアに立地する機能は大学や拠点医療施設など、広域的な機能が中心であり、市民が日常的に利用できる交流施設等は少ない。

#### ▼都市機能の立地状況



資料：草津市地域公共交通網形成計画、NAVITIME施設検索

## 2. 現状

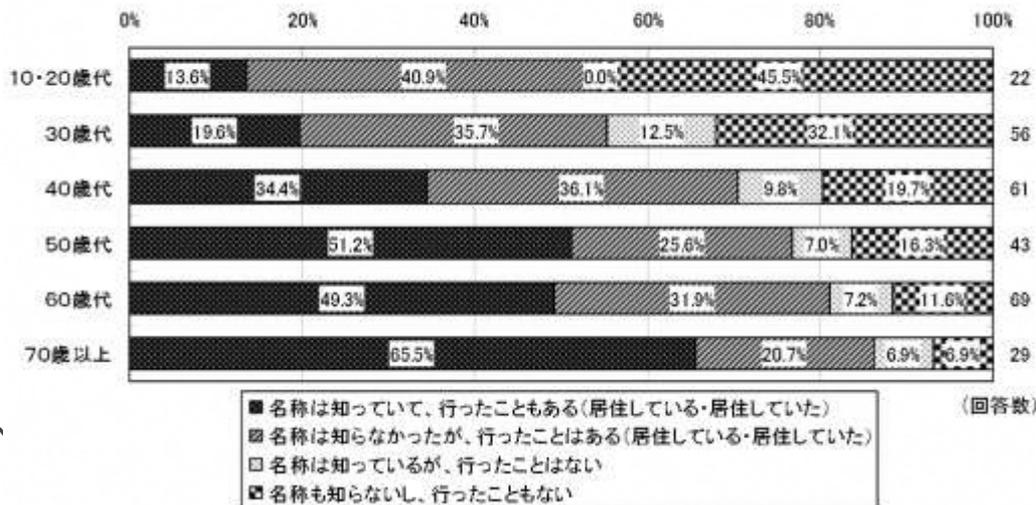
### (1)にぎわい・活力 <問題点(連携・交流)>

#### ◆施設の利用経験がびわこ文化公園都市として認知につながっていない

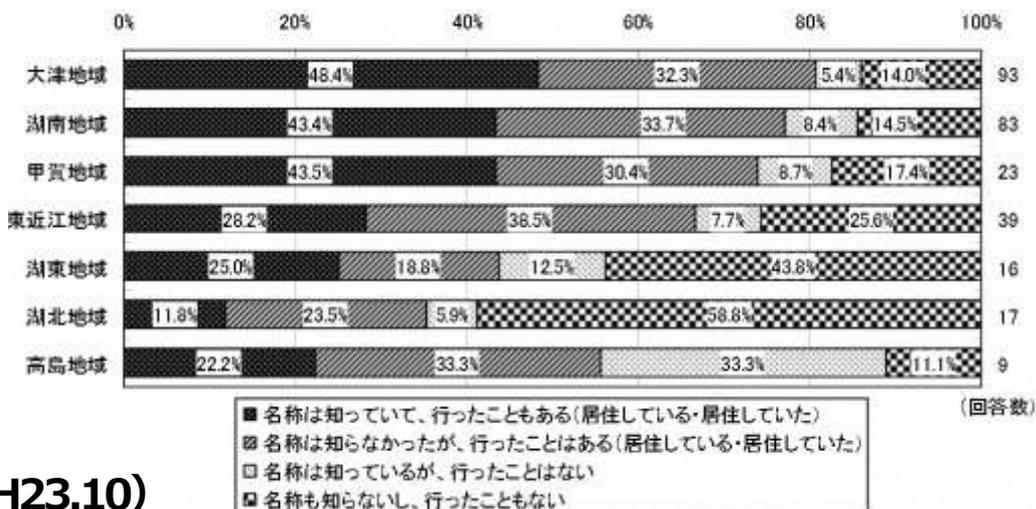
- ・特に若年層を中心にびわこ文化公園都市の認知度が下がる傾向がある。
- ・大津地域を始めとする近隣県民に関する認知度は相対的に高くなっているものの、名称も含めて認知している県民は半数以下にとどまっている。

市民アンケートにより結果を  
更新

▼びわこ文化公園都市の認知度・利用経験（年齢別）



▼びわこ文化公園都市の認知度・利用経験（居住地別）



資料：県政モニター・アンケート（H23.10）

# 2. 現状

## (1)にぎわい・活力 <問題点(滞在・魅力)>

◇ 広域的な公共施設が多数立地しているが、利用者数は伸び悩んでいる



びわこ文化公園都市内の施設と1日あたりの利用者(学生数)

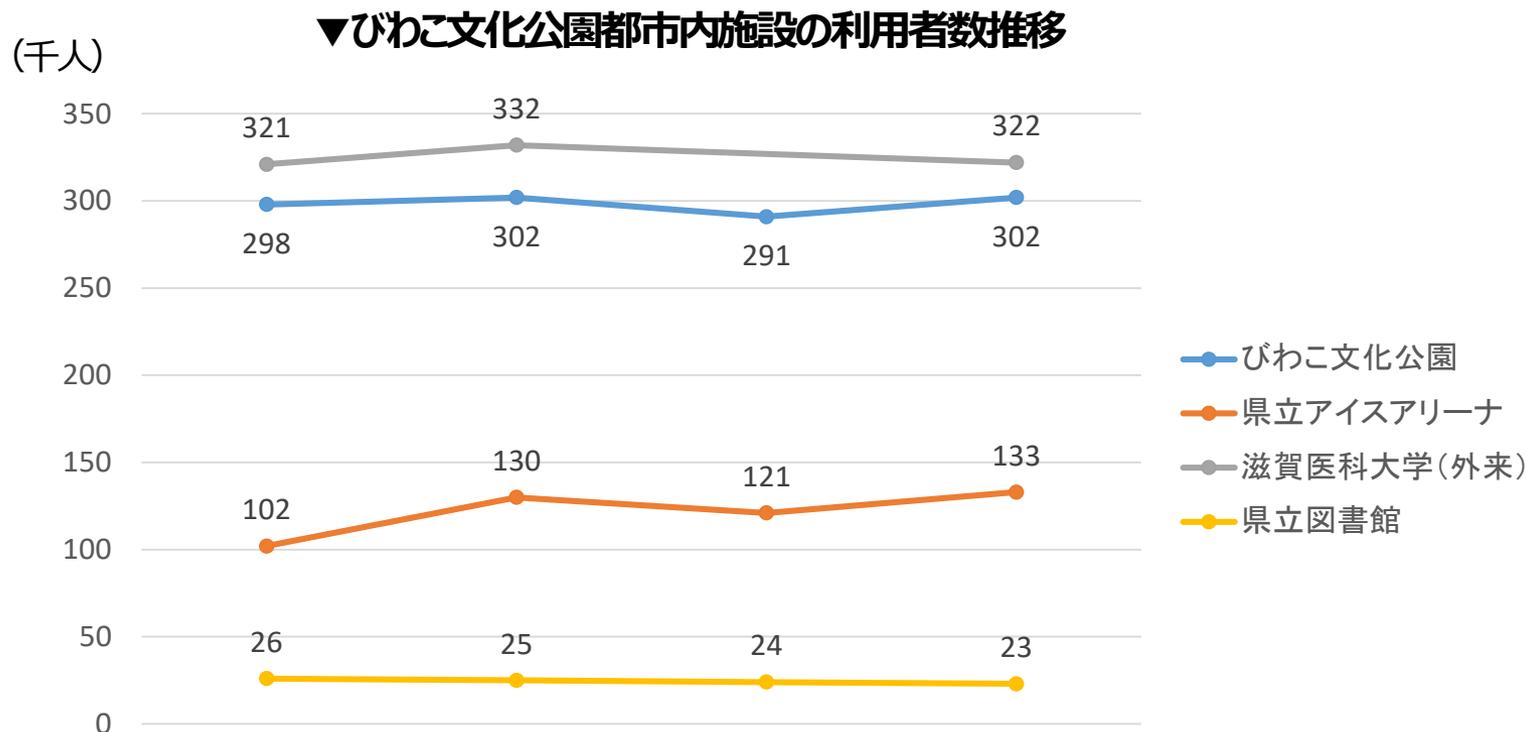
①県立アイスアリーナ	240	⑩日赤滋賀県赤十字センター	55	⑲草津養護学校	650
②龍谷大学瀬田キャンパス	4,000	⑪県立長寿社会福祉センター	224	⑳むれやま荘	—
③びわこ文化公園	—	⑫福祉用具センター	—	㉑滋賀県医療福祉相談モール	—
④県立美術館	494	⑬滋賀県薬剤師会	—	㉒県立障害者福祉センター	267
⑤県立図書館	800	⑭中央子ども家庭相談センター	—	㉓メイプル滋賀工場	41
⑥県埋蔵文化財センター	10	⑮滋賀県歯科医師会(口腔衛生センター)	—	㉔京大大学生態学研究センター	60
⑦県立東大津高校	1,120	⑯びわこ学園医療福祉センター草津	450	㉕立命館大学びわこ・くさつキャンパス	15,400
⑧滋賀医科大学	2,366	⑰精神保健福祉センター	—	㉖滋賀ダイハツアリーナ(R4.12竣工)	—
⑨滋賀医科大学附属病院	—	⑱精神医療センター	100		

## 2. 現状

### (1)にぎわい・活力 <問題点(滞在・魅力)>

#### ◇広域的な公共施設が多数立地しているが、利用者数は伸び悩んでいる

- ・県立アイスアリーナを除き、びわこ文化公園都市内の施設の利用者数は横ばいまたは減少傾向にある。



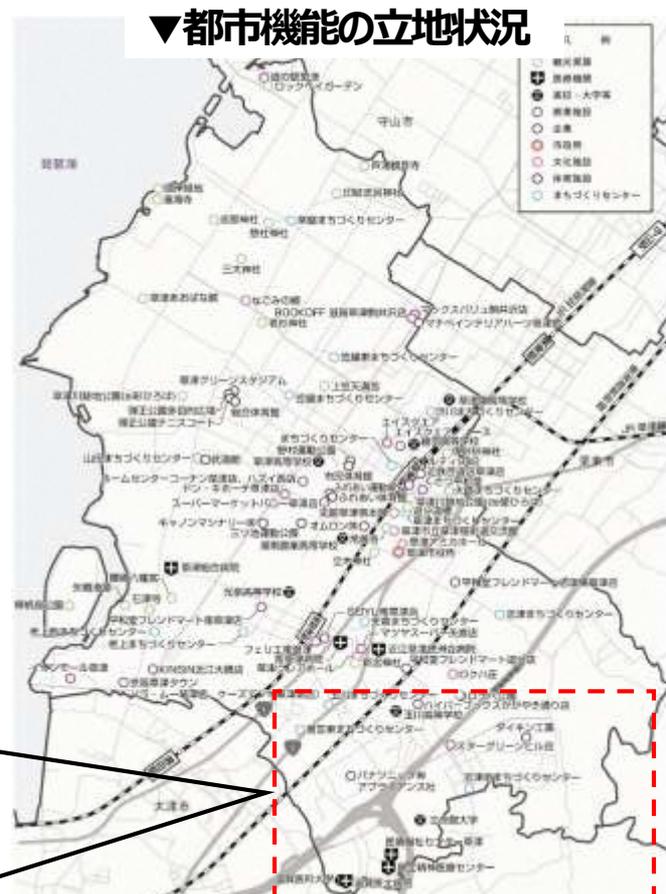
資料：草津PAと連携した交通拠点基礎調査<sup>H30</sup>、滋賀県立アイスアリーナ長寿命化計画<sup>H31</sup>、滋賀県立図書館事業概要<sup>H32</sup>

## 2. 現状

### (1)にぎわい・活力 <問題点(滞在・魅力)>

#### ◇エリア来訪時の目的施設以外への立ち寄りが少ない

- ・商業施設を中心とした日常生活に必要な機能はJ R沿線や琵琶湖岸南部（近江大橋周辺）に立地している。
- ・南部エリアに立地する機能は大学や拠点医療施設など、広域的な機能が中心であり、宿泊施設や飲食店も周辺には少ない。



資料：草津市地域公共交通網形成計画、NAVITIME施設検索

## 2. 現状

---

### (1)にぎわい・活力 <問題点(滞在・魅力)>

◇エリア来訪時の目的施設以外への立ち寄りが少ない

びわこ文化公園都市来訪時の近隣施設  
利用の有無

アンケートで要検証(市)

## 2. 現状

### (1)にぎわい・活力 <問題点(滞在・魅力)>

#### ◇飲食・物販等の立ち寄り施設が少ない

・施設の通勤・通学者に対し、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施（令和3年度）

分野	施設名称	分野	施設名称
芸術文化	滋賀県立図書館	医療福祉	滋賀県立草津養護学校
	滋賀県埋蔵文化財センター		びわこ学園医療福祉センター草津
	滋賀県立美術館		メイプル滋賀工場
医療福祉	国立滋賀医科大学付属病院		滋賀県中央子ども家庭相談センター
	滋賀県赤十字血液センター	国立滋賀医科大学	
	口腔衛生センター	龍谷大学瀬田キャンパス	
	社団法人滋賀県薬剤師会	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	
	滋賀県立長寿センター	びわこ大学生態学研究センター	
	滋賀県立精神保健センター	滋賀県立東大津高校	
	滋賀県立精神保健センター	びわこ文化公園（文化ゾーン）	
	滋賀県立むれセンター	滋賀県立アイスアリーナ	
滋賀県立障害者福祉センター			

別途アンケートで市民・利用者のニーズも要検証(市)

- ・ **飲食施設・物販施設が近くになく、約50%が「不便である」と回答。**
- ・ **75%以上が「地域振興施設があると良い」と回答。**  
その他、「地域情報案内所」、「観光案内所」、「子育て支援施設」、「宿泊施設」、「温浴施設」等への回答も多い。
- ・ 地域振興施設との連携の可能性として、約60%が「可能性がある」と回答。  
連携イメージとして、「施設等の情報発信の場」、「大学からの発信に基づく、関係機関や地域・市民との連携」、「製作した製品の販売」等が挙げられている。

## 2. 現状

### (2)安全・安心・防災 <ポテンシャル(医療・福祉施設の集積)>

◇滋賀医科大学附属病院をはじめ、**800床を超える病床と多数の診療科が存在している**

・びわこ文化公園都市内には、滋賀医大附属病院（603床、31診療科）をはじめ、びわこ学園福祉センター草津（6診療科、126床）、滋賀県立精神医療センター（7診療科、123床）が存在。

#### ▼びわこ都市に立地する病院と診療科、病床数

名称	滋賀医科大学医学部附属病院				びわこ学園医療福祉センター草津				滋賀県立精神医療センター			
病床数	603床				126床				123床			
診療科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	血液内科	小児科	神経科	内科	歯科	精神科	心療内科	内科	神経内科
	糖尿病内分泌内科	腎臓内科	脳神経内科	腫瘍内科	精神科	リハビリテーション科			アルコール依存症	ギャンブル依存症		
	小児科	精神科	皮膚科	消化器外科					薬物依存症			
	乳腺・小児・一般外科	形成外科	心臓血管外科	呼吸器外科	病院形態をとり児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設、障害者総合支援法に基づく療養介護事業所							
	整形外科	脳神経外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	母子診療科								
	女性診療科	泌尿器科	眼科	麻酔科								
	ペインクリニック科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリテーション科								
	臨床遺伝相談科	病理診断科	救急科									
専門外来	生活習慣病センター	禁煙外来	漢方外来	リンパ浮腫外来（セルフケア支援外来）								
	フットケア外来	排泄機能ケア外来	ストーマ外来	看護相談								
	院内助産所・助産師外来	睡眠センター	もの忘れ外来	妊娠と薬外来								
	がん看護外来											

資料：各施設HP

## 2. 現状

### (2)安全・安心・防災 <ポテンシャル(医療・福祉施設の集積)>

#### ◇エリア周辺には多様な福祉施設が集積

##### ▼びわ都市・周辺に立地する福祉施設

	名 称	業種
びわこ文化公園都市内	社会福祉法人びわこ学園 重症心身障害者通所施設ピアーズ	障害者向けサービス & 支援組織
	滋賀県立むれやま荘	協会/組織
	ラベンダー 社会福祉法人笑生会 生活介護施設	NPO法人
	特別養護老人ホーム アシタバ	介護施設
	社会福祉法人近江笑生会 特別養護老人ホーム南天	老人ホーム
	社会福祉法人びわこ学園 ケアホームともる	グループホーム
	社会福祉法人メイプル	障害者向けサービス & 支援組織
	滋賀県医療福祉相談モール	県
	(財) 滋賀県身体障害者福祉協会	障害者向けサービス & 支援組織
	滋賀県立長寿社会福祉センター	社会福祉センター
	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会	協会/組織
周辺	デイサービス栗林の郷	介護施設
	ガル・デイサービスセンター 一里山	デイケアサービス
	地域生活サポートセンター・じゅぷ	介護施設
	有料老人ホーム エスケア ザ グランド草津	介護施設
	特別養護老人ホーム 萩の里	老人ホーム
	特別養護老人ホーム第二菖蒲の郷	高齢者専用住宅
	就労移行支援/就労継続B型 多機能型事業所めぶき福祉会 さくら	障害者向けサービス & 支援組織

## 2. 現状

### (3) 安全・安心・防災 <ポテンシャル(広域支援)>

#### ◇相対的に災害リスクが低いエリアである

- ・県内には琵琶湖西岸断層帯等の複数の活断層が存在し、地震災害をもたらす危険性を有するが、草津市は相対的には活断層が少ない。
- ・草津市内では、琵琶湖沿岸、中心市街地を中心に大雨時の浸水想定区域が存在するが、草津PA周辺は、国道1号沿道やJR琵琶湖線沿線と比較して浸水リスクが低い。

▼活断層分布図



▼浸水リスク



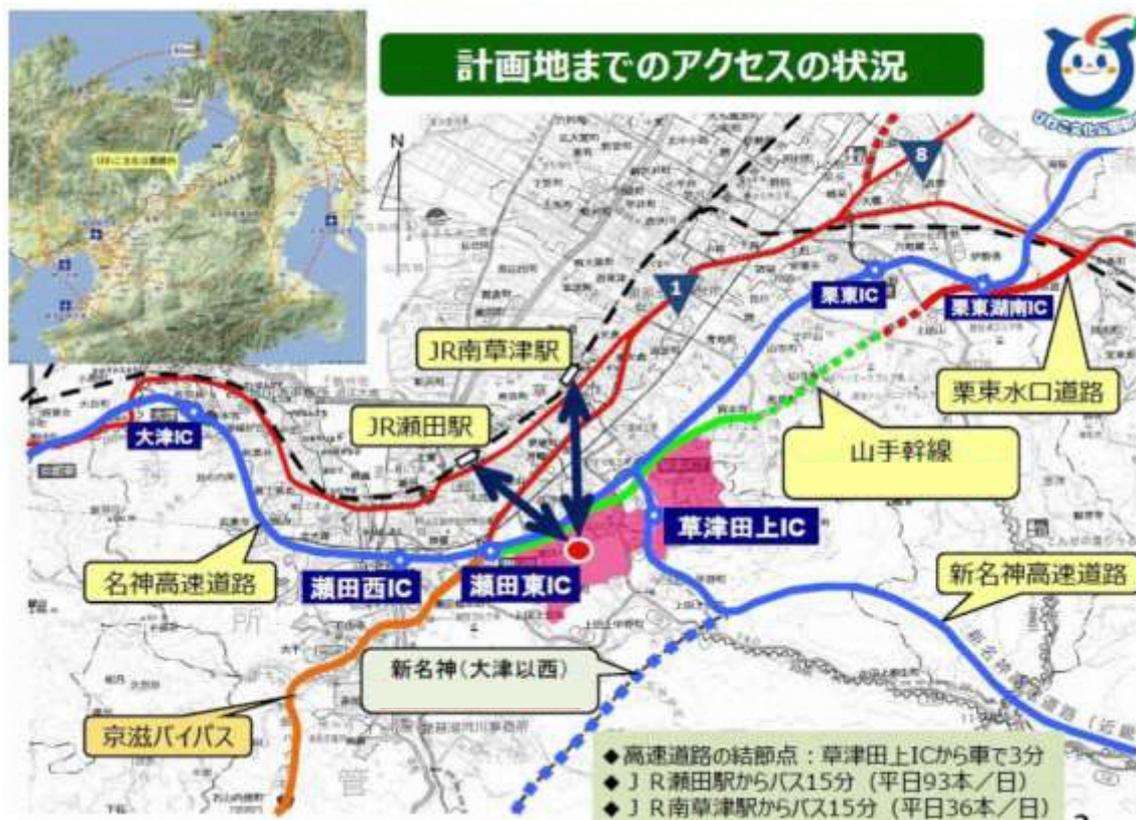
資料：草津市都市計画マスタープラン、草津市ハザードマップ

## 2. 現状

### (2) 安全・安心・防災 <ポテンシャル(広域支援)>

◇道路ネットワーク結節点に近接していることから、救援活動や物資輸送等、災害時対応の拠点となり得る

・計画地周辺には、名神高速道路や新名神高速道路、京滋バイパス、山手幹線等の広域道路網が多数存在し、今後も新名神高速道路や山手幹線の延伸によりさらに充実する見込み。



資料：草津PAと連携したハイウェイ交通拠点基礎調査業務報告書（H30）

# 2. 現状

## (2)安全・安心・防災 <問題点(広域支援)>

◇病院や福祉施設等、防災施設と連携できる機能は多数立地しており、避難者や広域支援部隊の受け入れ機能への要請に対応できている

- ・草津PA（下り）は国土交通省が指定する「防災拠点自動車駐車場」に位置付けられている（令和4年3月）。
- ・滋賀医科大学病院は災害拠点病院に指定されている。
- ・一方で、避難者や広域支援部隊の応急受け入れ機能はなし状況。

### ▼都市機能の立地状況



### ▼災害拠点病院・医療搬送拠点一覧

■災害拠点病院一覧（平成30年4月1日現在）

種別	保健医療圏	医療機関名	指定年月日
基幹災害拠点病院	県全域	大津赤十字病院	平成9年1月20日
	大津	市立大津市民病院	平成9年1月20日
地域災害拠点病院	大津	滋賀医科大学医学部附属病院	平成22年3月5日
		草津総合病院	平成18年4月28日
	湖南	済生会滋賀泉病院	平成9年1月20日
	甲賀	公立甲賀病院	平成21年8月11日
	東近江	近江八幡市立総合医療センター	平成9年1月20日
	湖東	彦根市立病院	平成9年1月20日
	湖北	長浜赤十字病院	平成9年1月20日
	湖西	高島市民病院	平成21年8月11日

■医療搬送拠点一覧（平成30年4月1日現在）

SCU名称	担当医療機関
滋賀県立大学	彦根市立病院
滋賀医科大学	滋賀医科大学医学部附属病院
高島市民病院	高島市民病院

資料：草津市地域公共交通網形成計画、龍谷大学

## 2. 現状

### (2)安全・安心・防災 <問題点(広域支援)>

- ◇病院や福祉施設等、防災施設と連携できる機能は多数立地しており、避難者や広域支援部隊の受け入れ機能への要請に対応できていない通勤・通学者に対し、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施（令和3年度）

分野	施設名称
芸術文化	滋賀県立図書館
	滋賀県埋蔵文化財センター
	滋賀県立美術館
医療福祉	国立滋賀医科大学付属病院
	滋賀県赤十字血液センター
	口腔衛生センター
	社団法人滋賀県薬剤師会
	滋賀県立長寿社会福祉センター
	滋賀県立精神医療センター
	滋賀県立精神保健福祉センター
	滋賀県立むれやま荘
滋賀県立障害者福祉センター	

分野	施設名称
医療福祉	滋賀県立草津養護学校
	びわこ学園医療福祉センター草津
	メイプル滋賀工場
	滋賀県中央子ども家庭相談センター
教育研究	国立滋賀医科大学
	龍谷大学瀬田キャンパス
	立命館大学びわこ・くさつキャンパス
	京都大学生態学研究センター
	滋賀県立東大津高校
レクリエーション	びわこ文化公園（文化ゾーン）
	滋賀県立アイスアリーナ

- ・ **90%以上が、「防災施設があると良い」と回答。**  
求める機能・施設として、「駐車場・広場等の避難所、受援スペース」、「非常時発電」が最も多く、「防災トイレ」、「防災倉庫」、「貯水槽」、「EV充電設備」、「ヘリポート」等、幅広い施設に対する整備が期待されている。
- ・ **防災施設との連携可能性として、約40%が「可能性がある」と回答。**連携イメージとして、「輸血用血液搬送のためのヘリポートの活用」、「当敷地内の災害救護倉庫との連携」、「災害時の情報や物資等の連携」等、具体的な意見が挙げられた。

## 2. 現状

### (2)安全・安心・防災 <問題点(リダンダンシー)>

#### ◇災害等、JR不通時に代替の公共交通手段がない

・滋賀県南部では土山BSを除き京阪神方面の高速バスは停車せず、JR琵琶湖線沿線において代替として利用できる手段はない状況である。

#### ▼高速バス本数

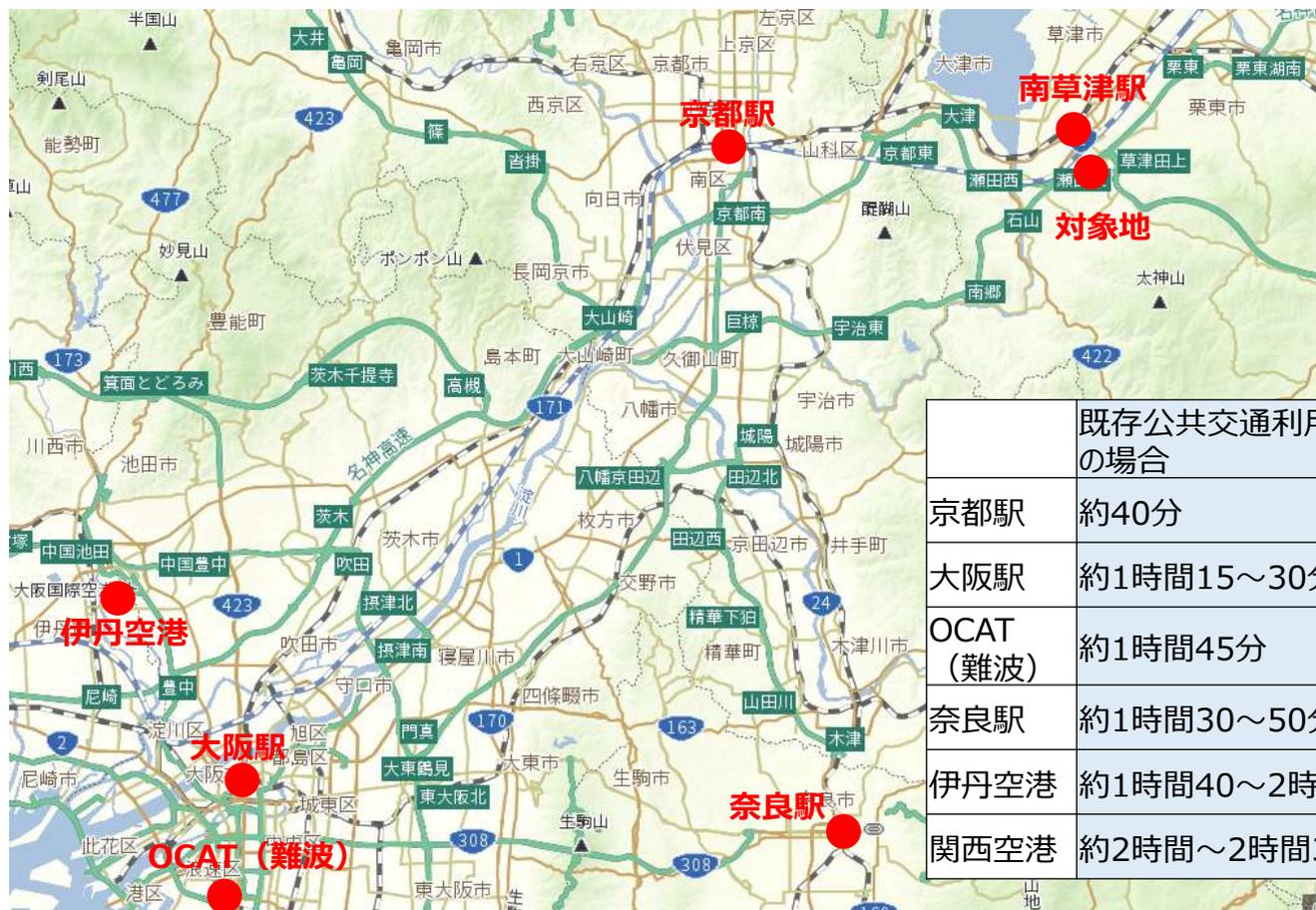
		南草津駅	草津駅	大津駅	土山BS	びわこ文化公園
大阪・京都方面	出発・到着	なし	なし	なし	14便 (京都市)	なし
東京方面	出発	3便	14便	1便	14便 (三重方面)	なし
	到着	1便	12便	1便		なし

## 2. 現状

### (3) 交通・交流 <ポテンシャル(京阪神からの所要時間)>

#### ◇大阪からは1時間半弱、京都からは40分程度の距離にある

・草津PAから高速道路を利用した場合、対象地までの所要時間は、京都駅や大阪駅からは場合によって公共交通利用と同等の可能性があるが、難波、奈良、伊丹・関西空港からは公共交通利用より短い。



## 2. 現状

### (3) 交通・交流 <ポテンシャル(北陸・中京からの所要時間)>

#### ◇名古屋からは1時間半程度の距離にある

・草津PAから高速道路を利用した場合、北陸・中京から対象地までの所要時間は、特に中京圏で公共交通利用より短い。



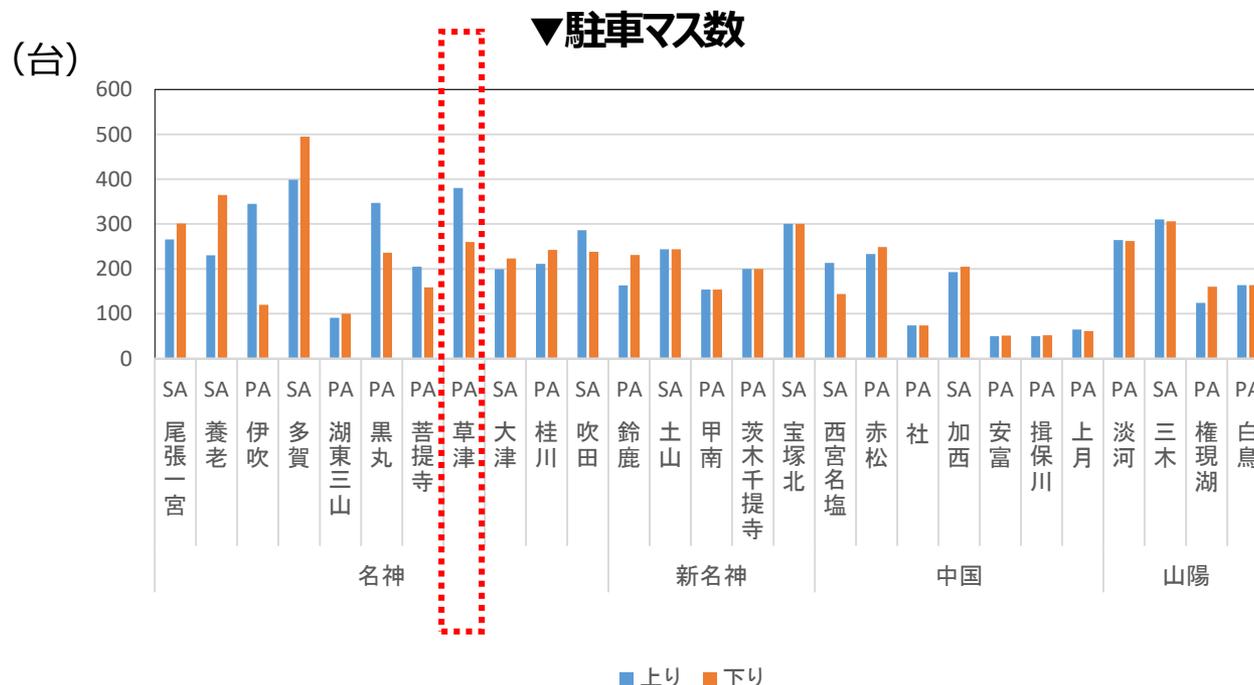
	既存公共交通利用の場合	草津PAまで高速バスの場合
名古屋駅	約1時間30～50分	約1時間15～30分
栄BT	約2時間	約1時間15～30分
中部空港	約2時間30分	約1時間30分
津駅	約2時間30～50分	約1時間
岐阜駅	約2時間10～20分	約1時間40分
福井駅	約2時間20～30分	約2時間
金沢駅	約3時間10～20分	約3時間

## 2. 現状

### (3) 交通・交流 <ポテンシャル(高速道路の利用状況)>

◇名神高速は約12万台/日の交通量があり、草津PA下り線の駐車マス数は229台

- ・名神高速草津JCT～瀬田東JCT間の利用台数は約12.3万台/日（2019年度）。
- ・草津PA は区間内で有数の駐車マス数を誇るPA で、SAを含めても上位となっており、名神高速道路で有数の大規模な高速道路上の休憩施設と言える。



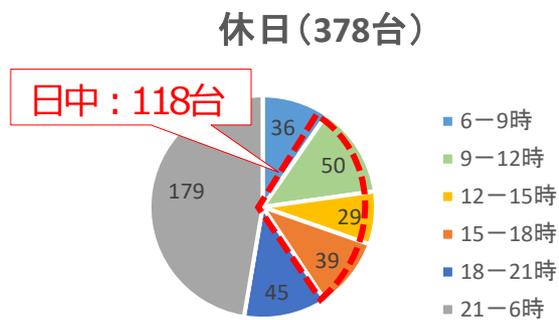
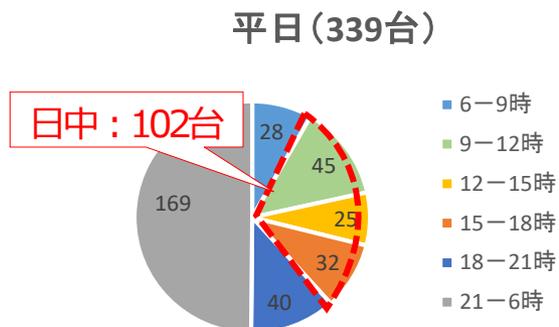
資料：滋賀県HP、H30草津PAと連携したハイウェイ交通拠点基礎調査業務

## 2. 現状

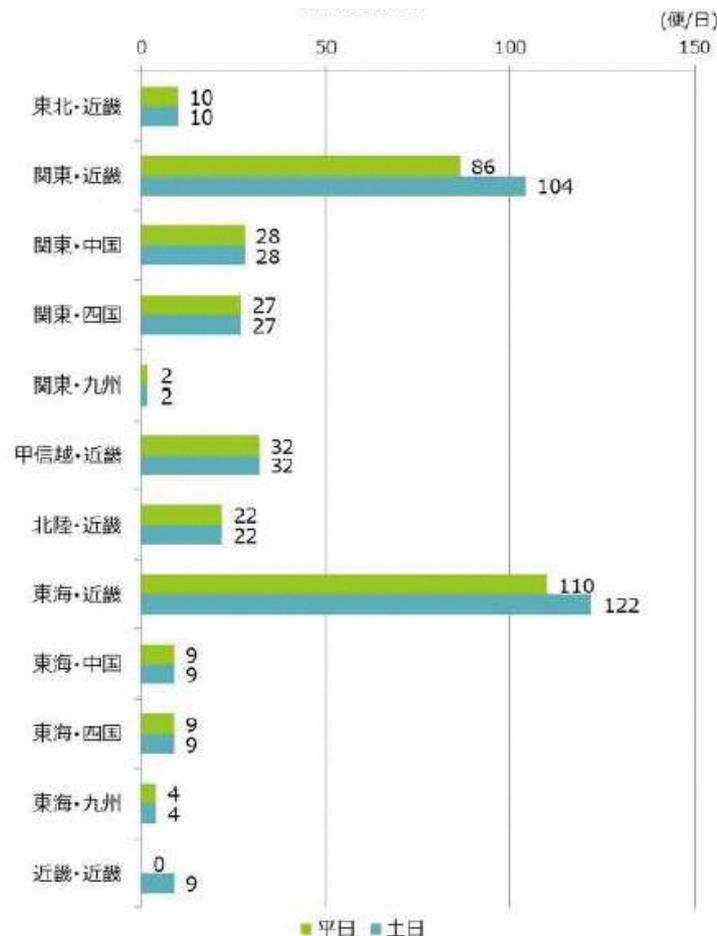
### (3) 交通・交流＜ポテンシャル(高速バス)＞

◇草津PAには平日300台以上、休日350台以上の高速バスが通過している

#### ▼草津PA周辺の高速バス通過台数(時間帯別)



#### ▼草津PA周辺の高速バス通過便数(発着地別)



資料: 草津PAと連携した交通拠点基礎調査 (H30)

## 2. 現状

### (3) 交通・交流 <問題点(道路交通)>

- ◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

#### ■ ETC2.0を活用した交通分析の提案

検証項目	分析内容
• 朝夕のピーク時間帯に速度低下が面的に発生している	1) 速度図+主要渋滞箇所の重ね図
• 渋滞している箇所を通過する交通はエリアに関する交通が多い	2) 断面交通の経路図 3) 断面交通の発着地分布図 4) 断面交通の内訳OD
• エリアへのアクセスにおいて、定時性が損なわれている	5) 断面交通の内、当該エリア発着交通のサンプル別所要時間

# 2. 現状

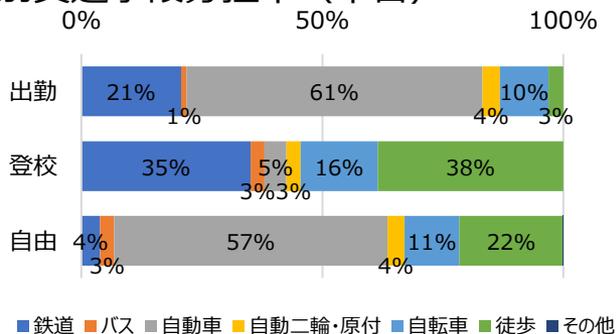
## (3) 交通・交流 <問題点(道路交通)>(平日)

◇朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

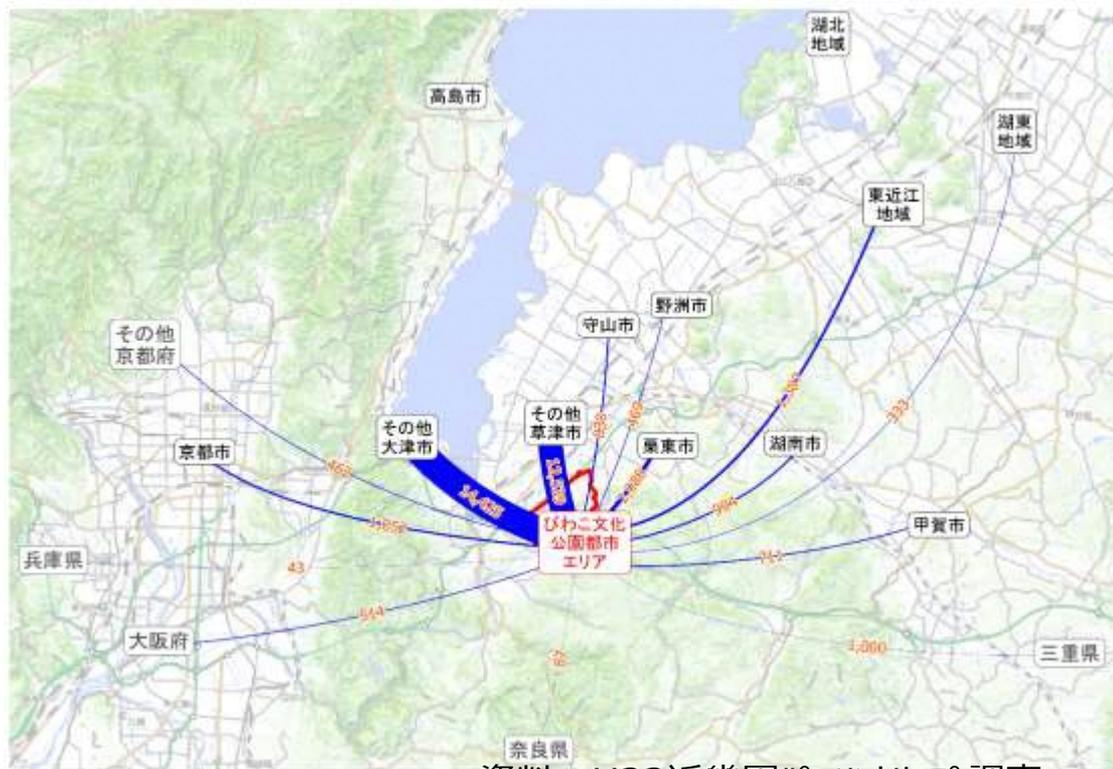
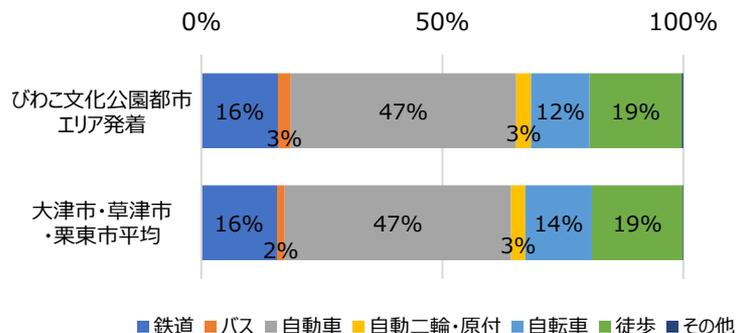
<検証項目>びわこ都市エリアにおける自動車依存状況、エリアからの人の出入り

・びわこ文化公園都市周辺エリアに関連する交通の多くが草津市内及び大津市内となっており、出勤・自由目的では自動車利用が突出して高い。

■ 目的別交通手段分担率 (平日)



《全目的での周辺都市との比較》



# 2. 現状

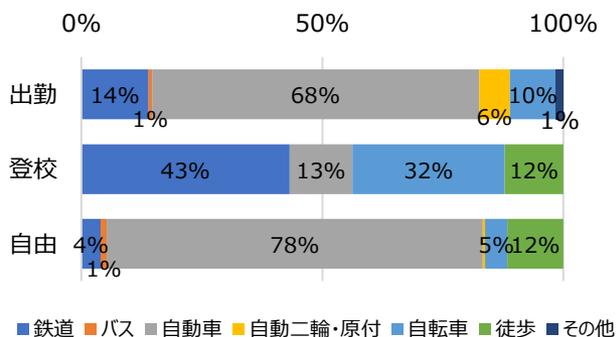
## (3) 交通・交流 <問題点(道路交通)> (休日)

◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

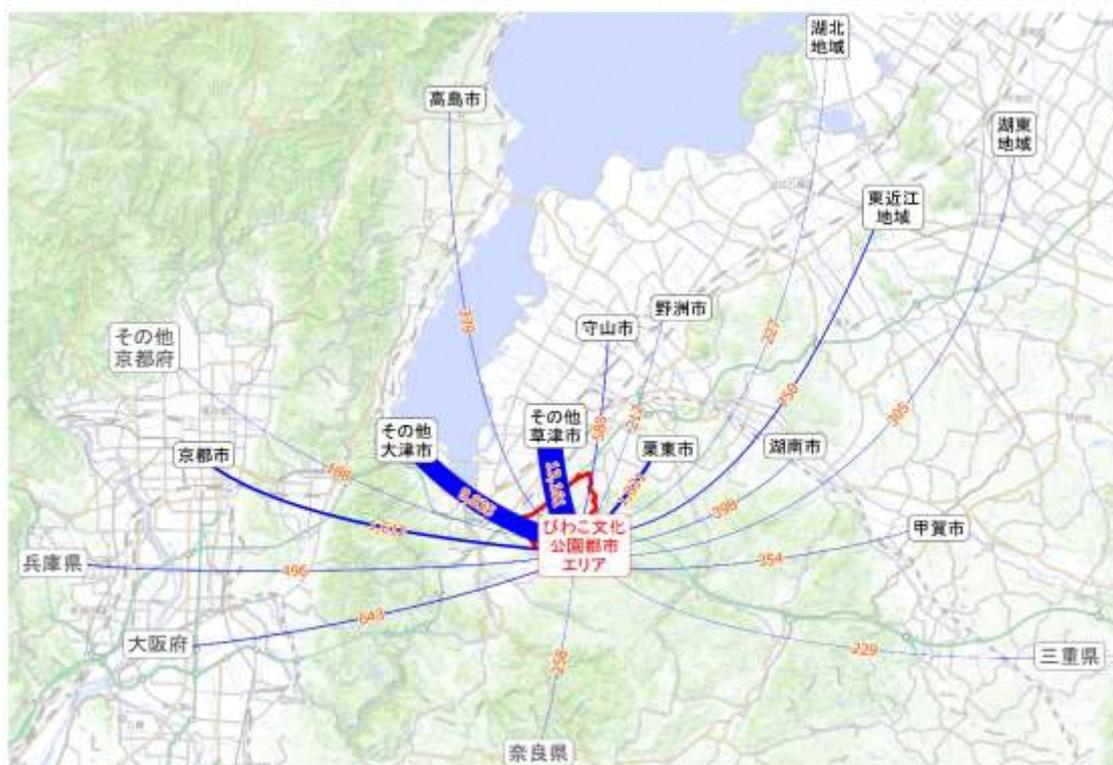
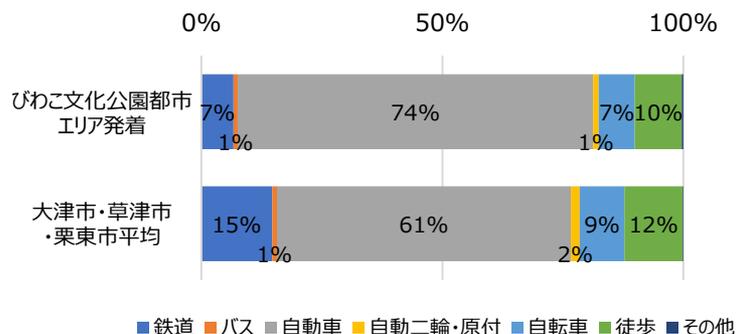
<検証項目> び文都市エリアにおける自動車依存状況、エリアからの人の出入り

・平日と同様に草津市・大津市に関連する交通が多く、また、自動車利用が突出して高い。

■ 目的別交通手段分担率 (休日)



《全目的での周辺都市との比較》



## 2. 現状

### (3) 交通・交流<問題点(道路交通)>

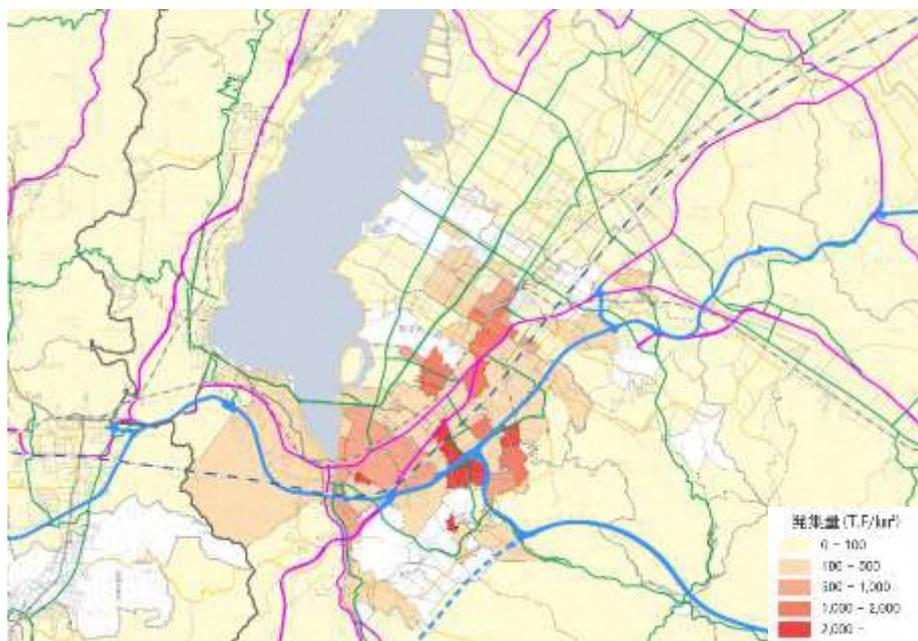
◇朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

<検証項目>び文公園周辺は自動車利用が高い

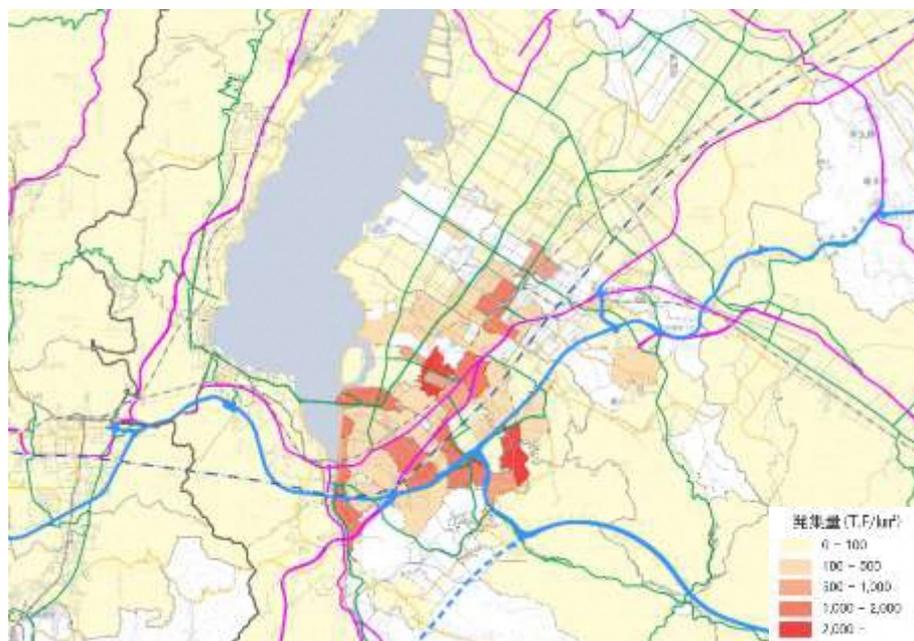
- ・自動車の発生集中箇所を詳細に確認すると、国道1号を中心に、草津市内及び大津市南部地域において発生集中量が多くなっている。

■郵便番号ゾーン別のび文公園周辺関連自動車発生集中量

《平日》



《休日》



## 2. 現状

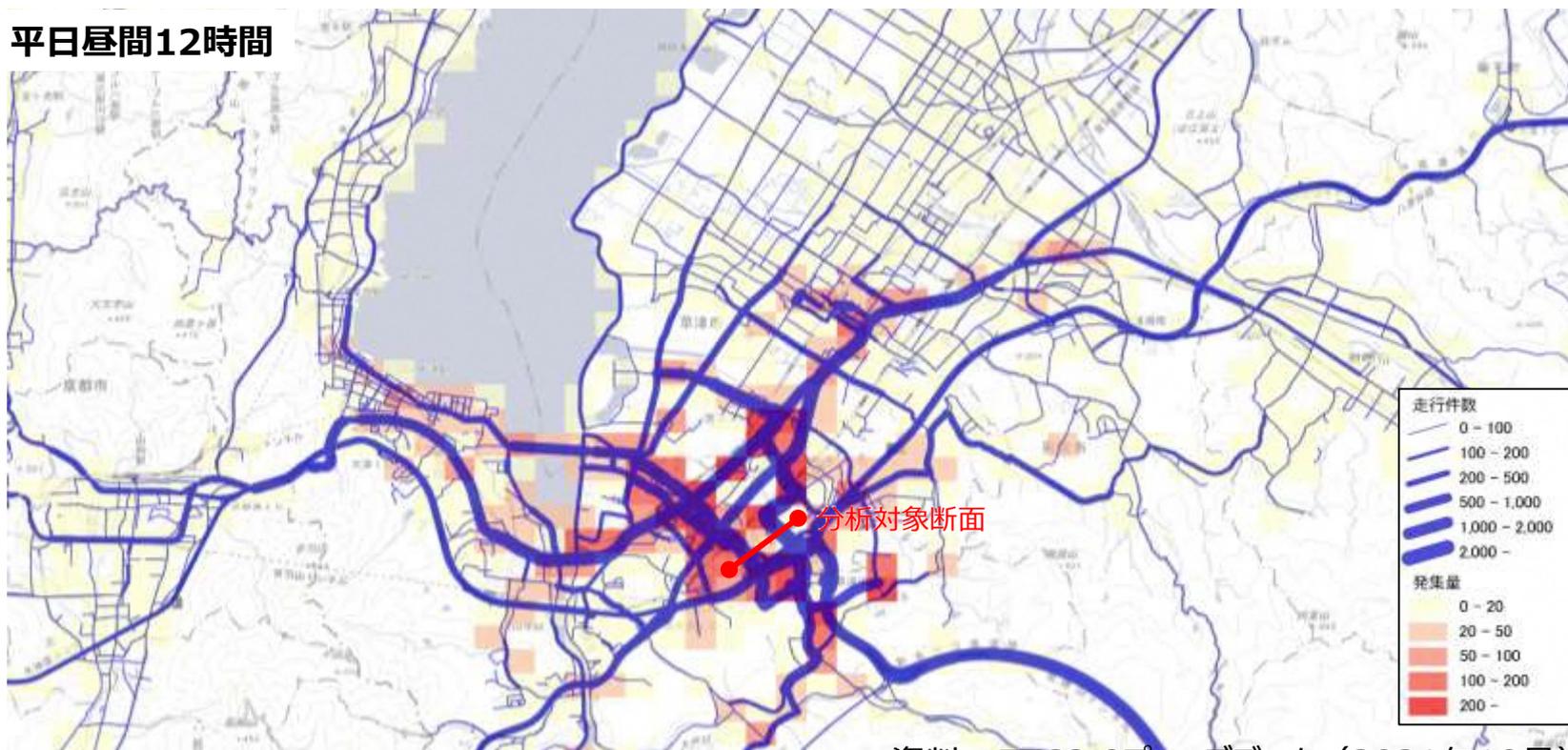
### (3) 交通・交流 <問題点(道路交通)>(平日)

◇朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

<検証項目> 渋滞している箇所を通過する交通はエリアに関係する交通が多い

・対象エリアへのアクセス道路を通過する交通の経路及び発生集中場所をみると、国道1号利用が多いことが確認できる。

平日昼間12時間



資料：ETC2.0プローブデータ(2021年10月)

## 2. 現状

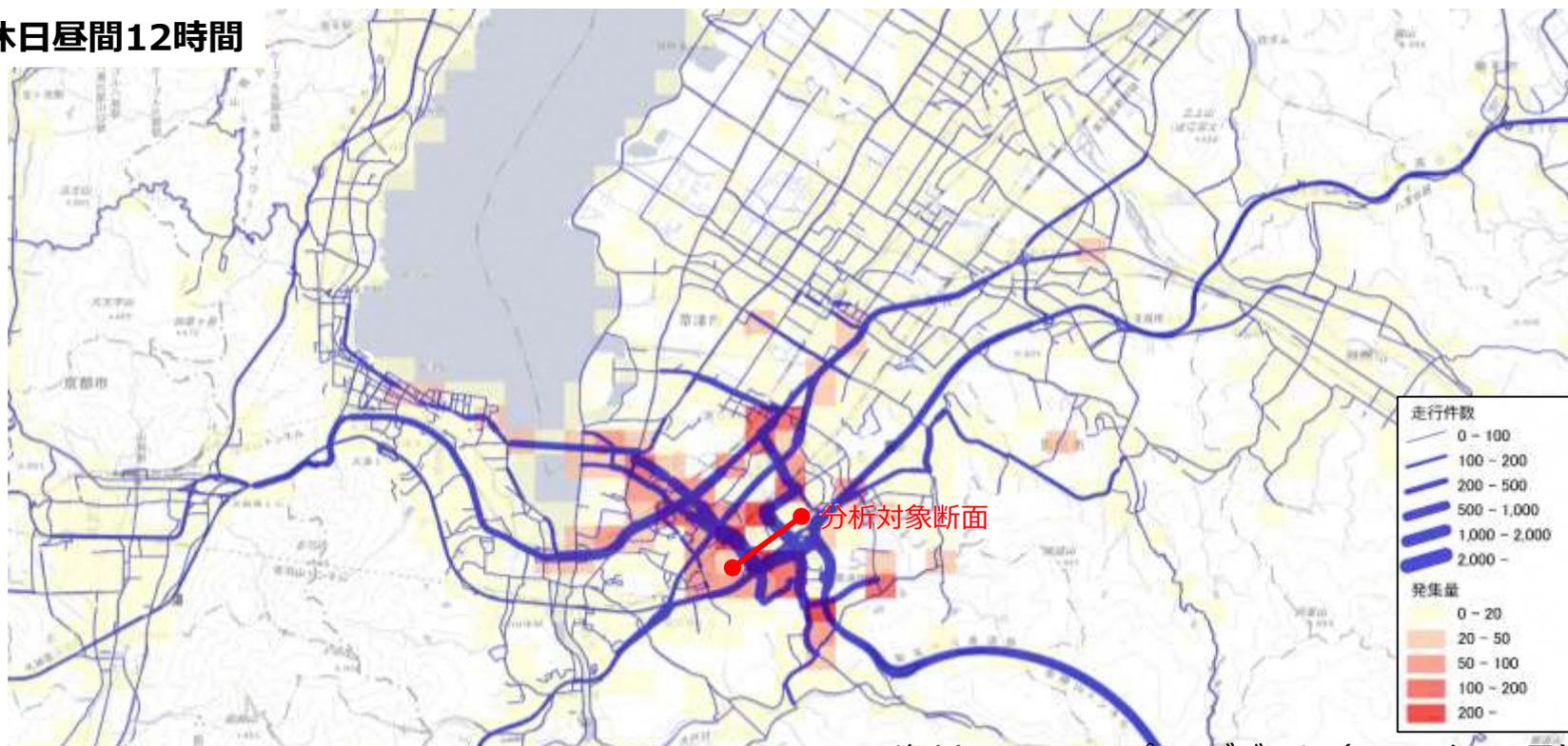
### (3) 交通・交流 <問題点(道路交通)> (休日)

◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

<検証項目> 渋滞している箇所を通過する交通はエリアに関係する交通が多い

・休日の利用エリアは平日よりも狭くなっており、瀬田川東側にとどまっているものの、国道1号利用が多い。

休日昼間12時間



資料：ETC2.0プローブデータ(2021年10月)

# 2. 現状

## (3) 交通・交流 <問題点(道路交通)>

◇朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

・南草津駅周辺を含む草津エリアにおいては、11か所の主要渋滞箇所と6か所の主要渋滞区間が存在している。

資料：  
滋賀県国道事務所HP  
『滋賀の主要渋滞箇所』より



# 2. 現状

## (3) 交通・交流 <問題点(道路交通(バス含む))> (平日)

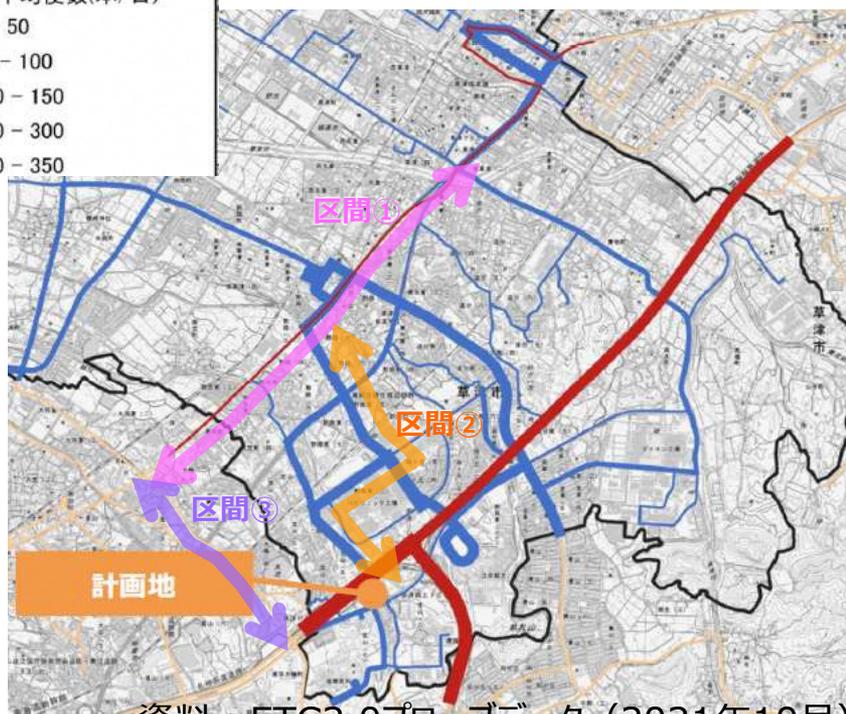
◇朝夕を中心に道路渋滞によりバスの**定時性が損なわれ**、サービス水準の低下が生じている

<検証項目> び文都市エリアへのアクセスにおいて、定時性が損なわれている

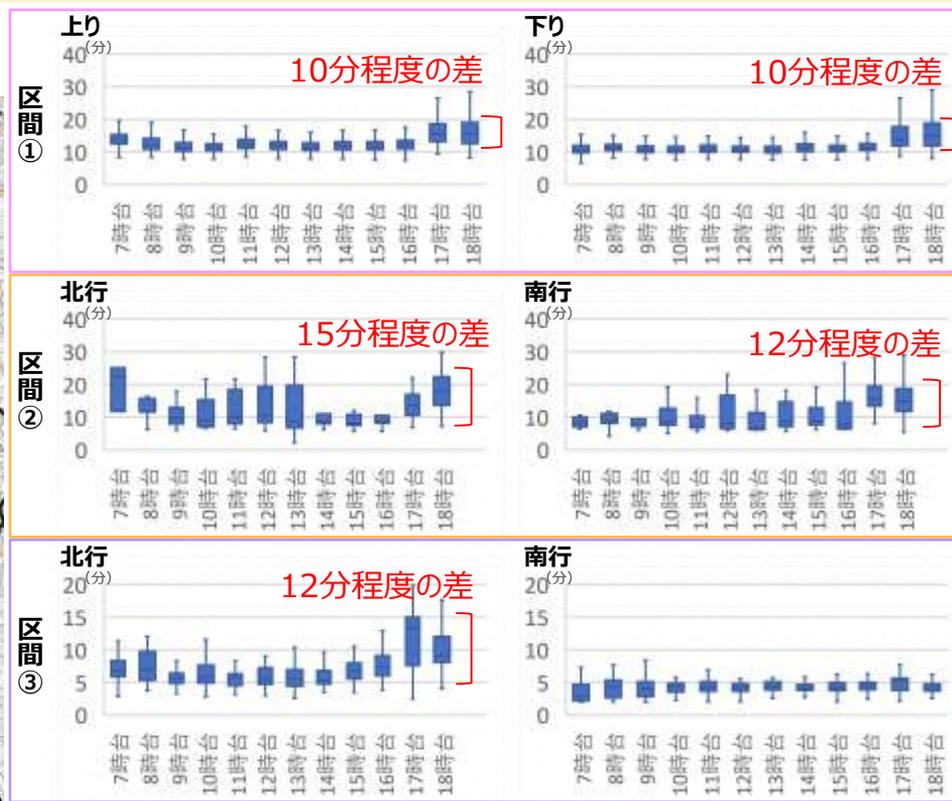
・公園周辺3区間については、特に国道1号にアクセスする区間②・③で定時性が低い。また、区間①国道1号についても夕方において定時性が低い状況にある。

- 草津市バス停
- バス平日平均便数(本/日)
- 1 - 50
- 50 - 100
- 100 - 150
- 150 - 300
- 300 - 350

▼バス運行本数と検証区間



資料：ETC2.0プローブデータ (2021年10月)



# 2. 現状

## (3) 交通・交流 <問題点(道路交通(バス含む))> (休日)

◇朝夕を中心に道路渋滞によりバスの**定時性が損なわれ**、サービス水準の低下が生じている

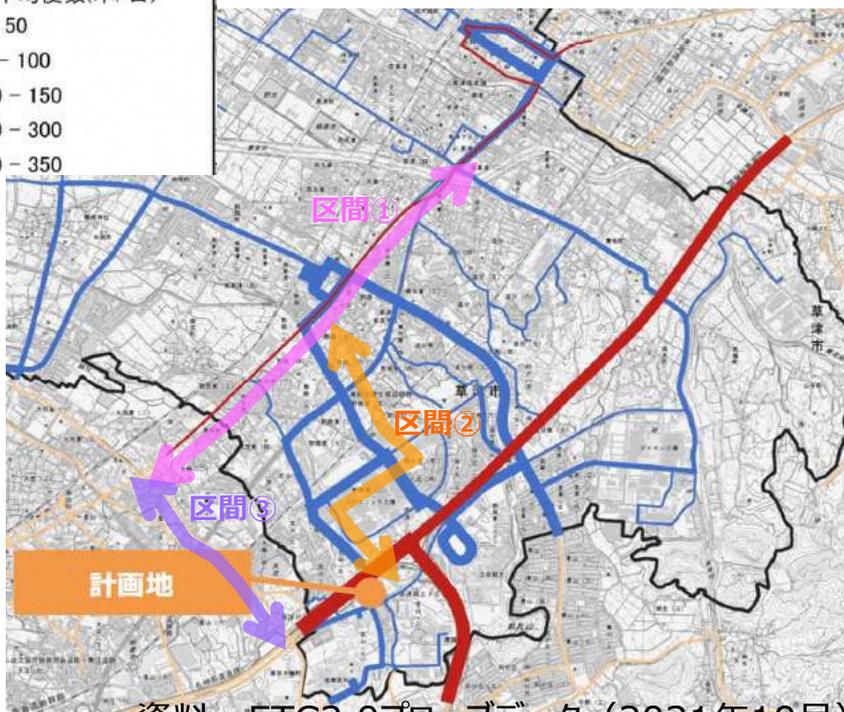
<検証項目> び文都市エリアへのアクセスにおいて、定時性が損なわれている

- ・休日も同様にアクセスルート上の定時性が低く、それら区間を運行するバス路線の定時性が損なわれている。
- ・国道1号については、午後においては平日よりも定時性が低い状況となっている。

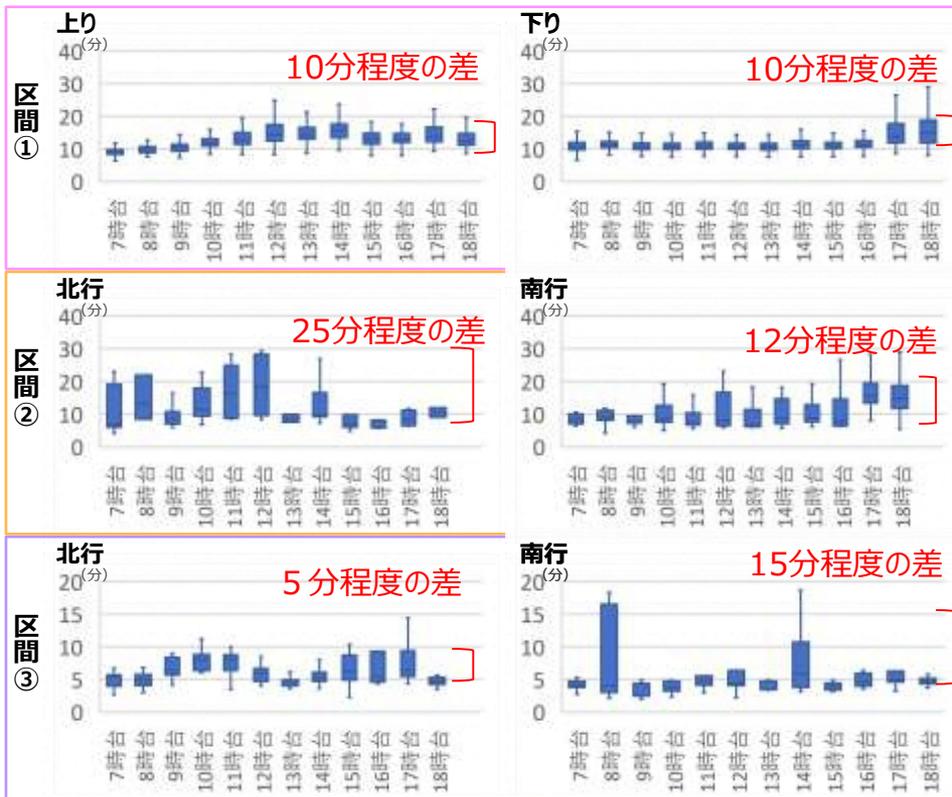
・ 草津市バス停  
バス平日平均便数(本/日)

- 1 - 50
- 50 - 100
- 100 - 150
- 150 - 300
- 300 - 350

▼バス運行本数と検証区間



資料：ETC2.0プローブデータ (2021年10月)



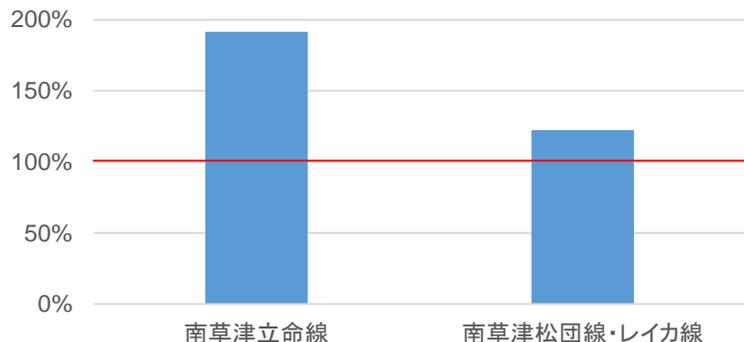
## 2. 現状

### (3) 交通・交流 <問題点(公共交通)>

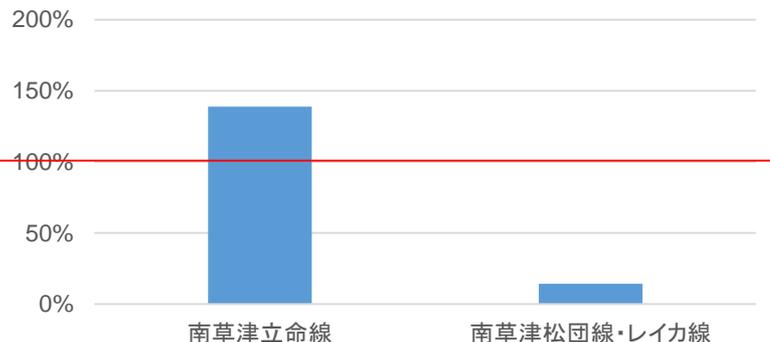
◇エリアへは複数の事業者によるバス路線が乗り入れているが、**需要に対して本数が限られており、バス車両内が混雑している**

・バス路線によっては座席数の倍程度が乗車するなど、混雑する時間帯もある。

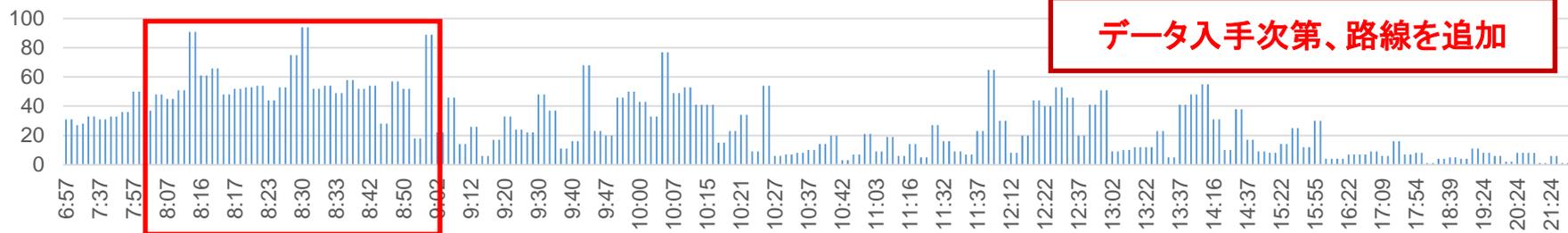
座席数対乗車率(8-9時)



座席数対乗車率(18-19時)



南草津立命線(駅発)の時間帯別乗客数



資料：近江鉄道バス (南草津立命線：2022/4/11、南草津松団線：2022/4/11・5/13・5/16～20の平均値)

※座席数は、一般各線バス27席、接続バス50席として計算

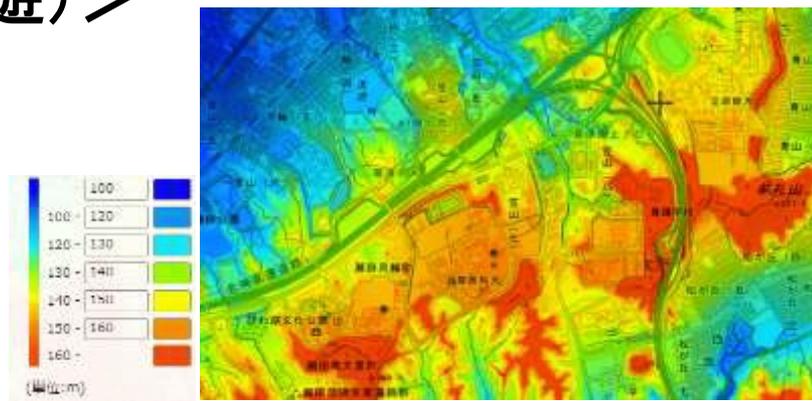
# 2. 現状

## (3) 交通・交流 <問題点(エリア回遊)>

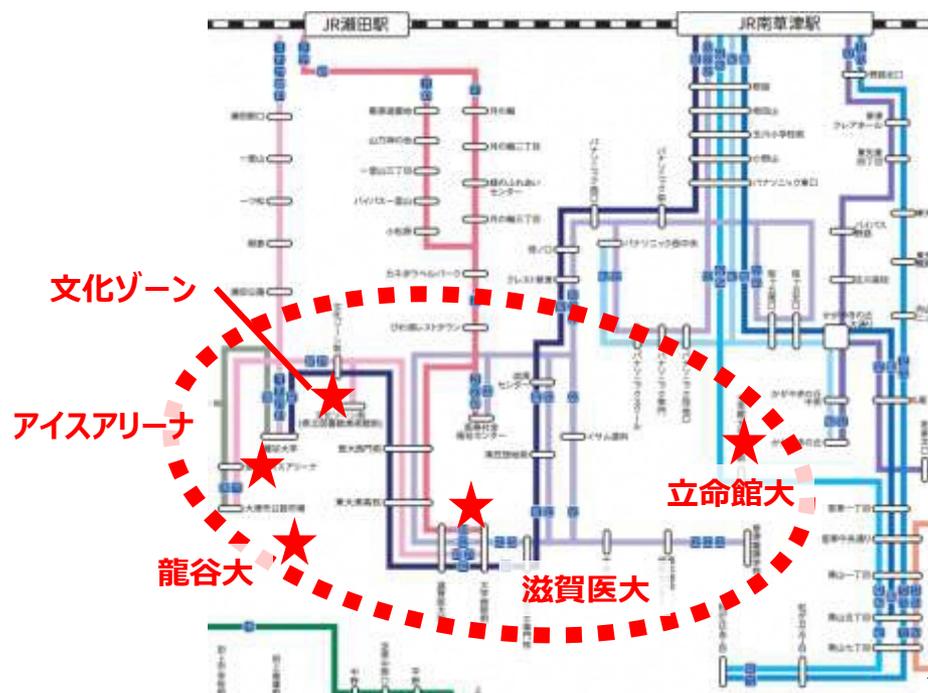
### ◇路線バスによるエリアの回遊がしにくい

- ・びわこ文化公園都市内には施設が分散し高低差もある状況。
- ・バス路線網をみると、エリア内を回遊するようなバスは少なく、施設間のアクセスが不足している。

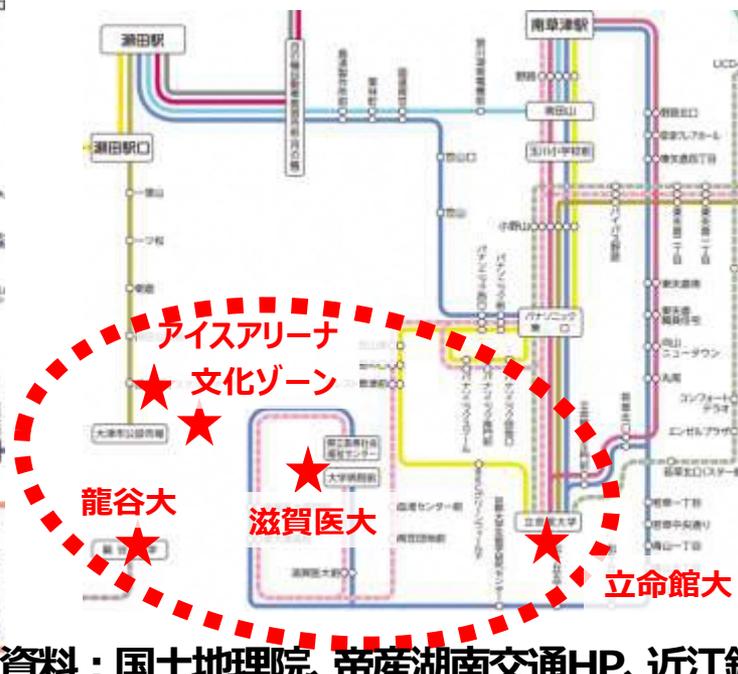
▼びわこ文化公園都市周辺の高低差



▼帝産湖南交通バスのバス路線網



▼近江鉄道バスのバス路線網



資料：国土地理院、帝産湖南交通HP、近江鉄道HP

## 2. 現状

---

### (3) 交通・交流 <問題点(エリア回遊)>

◇路線バスによるエリアの回遊がしにくい

アンケートで要検証(市)

# 3. 課題

## にぎわい・活力：エリアの一体としてのにぎわいが不足している

### ＜連携、交流＞

施設間連携や交流を促進する機能に乏しく、一体の拠点としての認知や広がり不足している

### ＜滞在、魅力＞

サードプレイスとなる施設が乏しく、施設の単独利用にとどまっている

## 安全・安心・防災：防災拠点としてのポテンシャルを活かせていない

### ＜広域支援＞

非常時に地域の安全・安心を支える広域支援機能への要請

### ＜リダンダンシー＞

エリアおよび周辺からの広域交通・輸送のリダンダンシーが求められる

## 交通・交流：エリアおよび周辺における交通の利便性・快適性が低い

### ＜道路交通＞

道路混雑により、びわこ文化公園都市エリア発着の自動車によるアクセスの利便性・快適性が低い

### ＜公共交通＞

エリア⇔京阪神のアクセスの一端を担う路線バスの定時性が低く、利用を敬遠

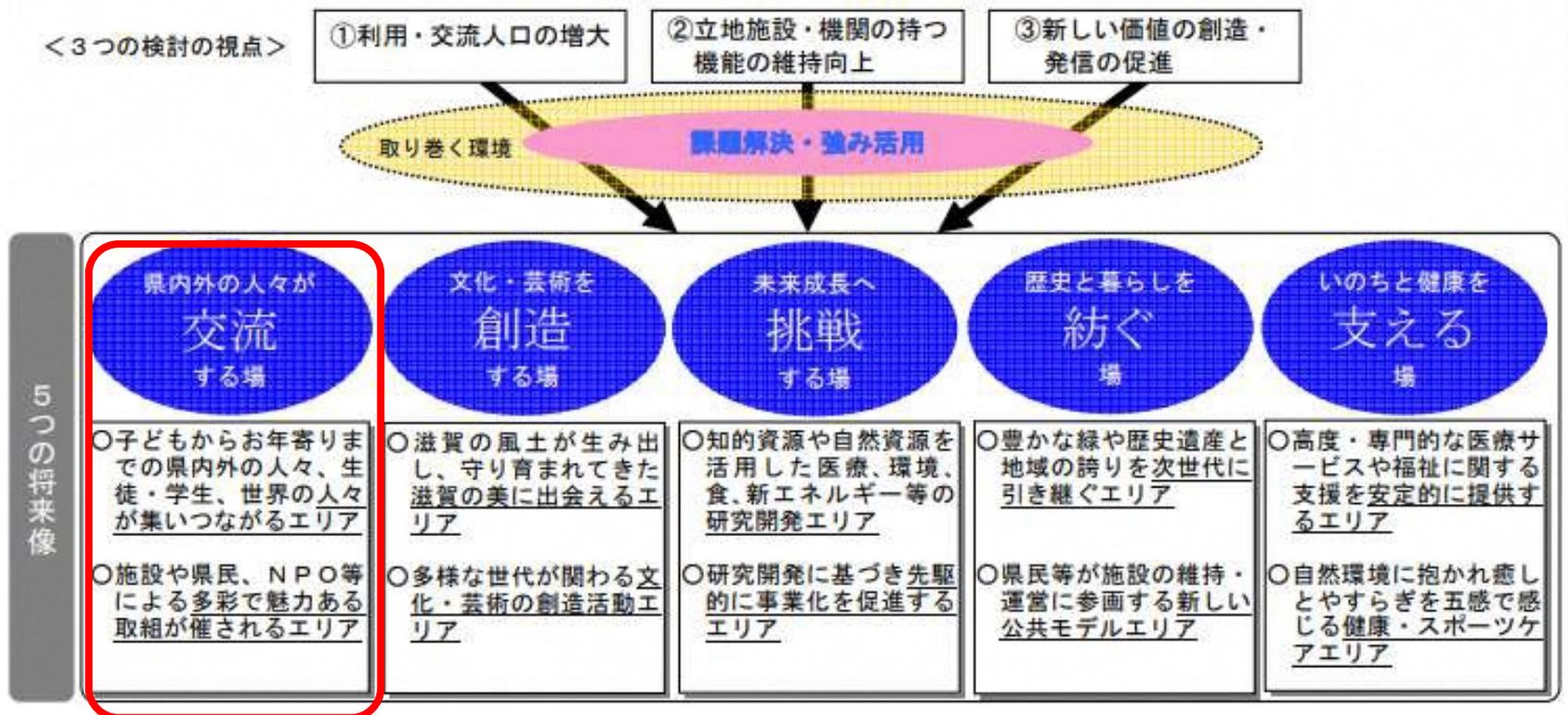
### ＜エリア回遊＞

びわこ文化公園都市内の回遊性(手段)が乏しい

# 4. 関連計画および周辺動向

## ◇びわこ文化公園都市将来ビジョン（平成24年8月滋賀県策定）

### ○検討の視点・将来像



### ○新たな視点の追加（検討中）

移動の自由・・・ 多様な移動手段により、誰もが「行きたい場所へ」「行きたい時」に「自由に移動」できるエリア 他

理解の共有・・・ 知りたい情報へ容易にアクセスでき、瞬時に情報が共有・利活用されるエリア 他  
(情報発信)

# 4. 関連計画および周辺動向

直近・今後5年程度の周辺動向を整理した。

## ◇大学の動向

社会のグローバル化・スピード化への対応、社会との連携、少子化時代での学生募集など、かつて郊外に移転が続いていた各大学においても、アクセス性のよい都心への回帰が起きている。

### ◇立命館の学部新設・移転

- ・H30年食マネジメント学部新設（約1200人在籍）
- ・R6年情報理工学部（約2000人）茨木キャンパスに移転予定（2015年の茨木キャンパスオープン時の経営学部（約3700人）に続く移転）

立命館大学 16学部・21研究科 現在の所在地一覧

衣笠キャンパス 〔京都市北区等持院北町 58-1〕	びわこ・さつキャンパス 〔滋賀県草津市野原東 1-9-1〕	大宮いばらきキャンパス 〔大阪府茨木市忠告町 2-190〕
【5学部】 法学部 産業社会学部 国際関係学部 文学部 <u>情報学部</u>	【7学部】 経済学部 スポーツ健康科学部 食マネジメント学部 理工学部 <u>情報理工学部</u> 生命科学部 薬学部	【4学部】 経営学部 政策科学部 総合心理学部 グローバル教養学部
【7研究科】 法学研究科 社会学研究科 国際関係研究科 文学研究科 <u>情報研究科</u> 先端総合学術研究科 言語教育情報研究科	【6研究科】 経済学研究科 スポーツ健康科学研究科 理工学研究科 <u>情報理工学研究科</u> 生命科学研究科 薬学研究科	【5研究科】 経営学研究科 政策科学研究科 人間科学研究科 グローバル・マネジメント研究科 経営管理研究科（インフラ）

美富キャンパス〔京都市中京区西ノ京東福町1〕  
【3研究科】  
公共政策大学院〔公共研究科〕<sup>\*)</sup>、法科大学院〔法務研究科〕、教職大学院〔教職研究科〕

\*) 2018年以降募集停止

### ◇龍谷のキャンパス再編

- ・創立400周年を迎えるR21年（2039年）度末までの長期計画「龍谷大学基本構想400」の取組として、各キャンパスの教育研究環境を整備し、機能・学びを充実させるキャンパスブランド構想を推進。
- ・その一環で、R6年に社会学部を深草キャンパス（京都市）に移転させ、瀬田キャンパスには神学部の設置を検討中。
- ・「瀬田キャンパス」は、自然科学を中心にカーボンニュートラルをはじめとする環境課題に向き合い価値創造や社会変革のけん引を掲げる。

# 4. 関連計画および周辺動向

## ◇道路ネットワークの整備

計画地周辺には、名神高速道路や新名神高速道路、京滋バイパス、山手幹線等の広域道路網が多数存在し、今後も新名神高速道路や山手幹線～国道1号栗東水口道路の延伸によりさらに充実する見込み。

資料：草津PAと連携したハイウェイ交通拠点基礎調査業務報告書（H30）



## ◇新県立体育館の整備

びわこ文化公園都市内に滋賀ダイハツアリーナ（Bリーグクラブ「滋賀レイクス」本拠地）が完成（R4年12月）



## ◇びわこ文化公園内でのPark-PFI活用

びわこ文化公園（文化ゾーン）内に滋賀県がPark-PFIにより事業者を公募し、バーベキュー施設・テレワーク施設を併設したカフェを設置（R5年春開業予定、代表企業：西武造園）



資料：PR TIMES

## 5. 目標・基本方針

---

### ■ 目標 ■

滋賀県南部エリアの新たな玄関口として、交通環境が充実し、多様な主体による交流が生まれ、地域の活力が広域に波及することで、にぎわいと安全・安心を享受できるまち

### ■ 基本方針 ■

目標の達成に向けて取り組む基本方針を次の3つのとおり定め、草津PAと連携し、それぞれに沿った具体的な取組により、にぎわいの創出、安全・安心の享受、交通環境の充実を図る。

## 5. 目標・基本方針

基本方針：地域、大学、企業が交流し、地域外からの訪問者も集うにぎわいの創出

- エリアの住民、大学、企業の**連携・交流を促進する機能の強化**
- エリアの玄関口形成による**地域情報発信、立ち寄り機能の強化**

にぎわい・活力

基本方針：集積した医療・福祉、道路ネットワークを生かした安全・安心の享受

- **医療・福祉施設と連携し、高速道路・草津PAと一体となった広域的防災機能の強化**
- **高速バスの活用による広域公共交通・輸送のリダンダンシーの確保**

安全・安心・防災

基本方針：新たな玄関口としての公共交通の利便性向上による、エリアおよび周辺の交通環境の充実

- **周辺道路および駅に集中する交通量の削減・転換**
- **路線バスからJRへの利用環境の充実に加え路線バスと高速バスによる交通結節機能の強化（公共交通利便性・快適性向上）**
- エリア来訪時における**回遊手段の確保**

交通・交流